

ファクシミリ通信網サービス利用のための 技術パンフレット

(E-mail 接続編)

第 31 版

NTT ドコモビジネス株式会社

本資料の内容は、装置の機能追加などにより追加・変更されることがあります。

(c) NTT DOCOMO BUSINESS 2025

- ・ Macintosh®は、米国 Apple Computer, Inc. の米国における登録商標です。
- ・ Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Microsoft®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Adobe、Adobe®Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- ・ その他の製品名等の固有名詞は、各メーカーの登録商標または、商標です。
- ・ 本文中の各社の登録商標または商標には、TM・®マークは表示していません。

目 次

まえがき	1
1 概要	2
1.1 用語の説明	2
1.2 サービスの概要	4
1.3 主なサービス	6
1.4 メールによる送受信	8
2 メール設定	9
2.1 メール設定の概要	9
2.2 スマートキャストへの送信メール	9
2.2.1 From: フィールド	9
2.2.2 To: フィールド	10
2.2.3 Subject: フィールド	10
2.2.4 メールボディ	11
2.2.5 MIME	11
2.2.6 S/MIME	11
2.3 スマートキャストからの受信メール	12
2.3.1 From: フィールド	12
2.3.2 To: フィールド	14
2.3.3 Subject: フィールド	14
2.3.4 メールボディ	14
2.4 メールサーバ設定時の注意事項	14
3 コンテンツ変換条件	15
3.1 概要	15
3.2 入力コンテンツ条件（メール本文）	15
3.3 入力コンテンツ条件（添付ファイル）	22
3.3.1 テキスト文書ファイル	22
3.3.2 TIFF 形式画像ファイル	27
3.3.3 プリンタ出力ファイル	30
3.3.4 JPEG 形式画像ファイル	31
3.3.5 Microsoft Word 文書ファイル	32
3.3.6 Adobe PDF ファイル	34
3.4 出力コンテンツ条件	36
3.4.1 TIFF ファイル	36
3.4.2 PDF ファイル	36
4 メールフォーマット	37
4.1 メールフォーマットの概要	37
4.2 送信メール	37
4.2.1 電話番号指定同報のメール	37
4.2.2 宛先リスト同報のメール	38
4.2.3 宛先ファイル同報のメール	39
4.2.4 宛先ファイルの作成方法	40
4.2.5 オーバーレイ同報のメール	42
4.2.6 オーバーレイ用宛先ファイルの作成方法	43
4.2.7 ファクシミリ案内の取出し要求メール（情報取出し者用）	45
4.3 通知メール	46
4.3.1 受付通知メール	46

4.3.2	受付不可通知メール	47
4.3.3	配送結果通知メール	53
4.4	登録メール	56
4.4.1	宛先リスト登録メール	56
4.4.2	宛先リスト登録通知メール	57
4.4.3	宛先リストファイルの作成方法	59
4.4.4	宛先リスト確認要求メール	61
4.4.5	ファクシミリ案内登録・消去要求メール（情報提供者用）	61
4.4.6	ファクシミリ案内登録通知メール（情報提供者用）	62
4.4.7	ファクシミリ案内登録確認要求メール（情報提供者用）	63
4.4.8	ファクシミリ案内開始・停止要求メール（情報提供者用）	63
4.4.9	ファクシミリ案内開始・停止通知メール（情報提供者用）	64
4.4.10	ファクシミリ案内利用状況確認要求メール（情報提供者用）	64
4.4.11	再呼回数登録メール	65
4.4.12	再呼回数登録通知メール	65
4.5	案内メール	66
4.5.1	宛先リスト確認案内メール	66
4.5.2	ファクシミリ案内登録確認案内メール（情報提供者用）	67
4.5.3	ファクシミリ案内利用状況確認案内メール（情報提供者用）	68
4.6	通信メール	69
4.6.1	同報通信における通信メール	69
4.6.2	ファクシミリ案内における取出しメール（情報取出し者用）	70
5	OCR 機能	71
5.1	機能概要	71
5.2	着信側 E-MAIL の仕様	72
5.2.1	各サービス共通の仕様	72
5.2.2	マークシート読み取りサービスイメージ情報通知なし	75
5.2.3	マークシート読み取りサービスイメージ情報通知あり	77
5.2.4	パターン投入サービス	82
6	その他注意事項	84
6.1	E-MAIL→FAX 通信における制限	84

まえがき

NTTドコモビジネス株式会社（以下、NTTドコモビジネスといいます）のサービスをご利用いただき、ありがとうございます。

この資料は、NTTドコモビジネスが提供しておりますファクシミリ通信網サービスについての技術資料です。電子メールのシステムでファクシミリ通信網をご利用いただく際に必要な、電子メールの設定方法や文書規約などの技術的説明を記載しています。

接続条件などのファクシミリ通信網の詳細な技術情報や、各サービスのご利用方法に関しては、技術パンフレット（TCP/IP 接続編）、技術パンフレット（WEB 接続編）、およびご利用の手引きなどをご参考ください。なお、NTTドコモビジネスはこの資料の内容をもって通信の品質を保証するものではありません。

今後、この資料はファクシミリ通信網のインタフェース条件およびサービス項目の追加、変更に合わせて、予告なく変更される場合があります。

1 概要

1.1 用語の説明

ファクシミリ通信

文字、図形などの書画を送受する電気通信をいいます。

ファクシミリ通信網

ファクシミリ通信の用に供するためのデジタル伝送路、蓄積変換装置等からなる電気通信回線設備をいいます。

ファクシミリ通信網サービス

ファクシミリ通信網を使用して行う電気通信サービスをいいます（公衆ファクスサービスとなるものを除きます）。

BizFAX スマートキャスト（略称：スマートキャスト、旧称：i F A X）

N T T ドコモビジネスのファクシミリ通信網サービスのことで、E-mail と F A X の相互通信を可能にしたネットワークサービスです。

TCP/IP プロトコルで接続するにあたり、「インターネット接続型」と「閉域接続型」の 2 つの接続形態があります。本資料においては、断りのないかぎり両方の接続形態に関する説明をしています。

TCP/IP (Transmission Control Protocol / Internet Protocol)

インターネットや LAN におけるコンピュータ間の通信に広く利用されている通信プロトコル（手順）です。

E-mail

インターネット上で標準的に使用されている方式の電子メールです。SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) という手順を用いて送受信されます。

MIME (Multipurpose Internet Mail Extensions)

マルチメディアデータをメールで送受信するために、SMTP を拡張したものです。SMTP では文字データしか扱うことができませんが、MIME を用いることにより画像ファイルなどのマルチメディアデータファイルをメールに添付することができます。

ITU-T (International Telecommunication Union-Telecommunication standardization sector)

国際電気通信連合の電気通信標準化部門のことです。電気通信関連の研究や勧告の策定を行います。1993 年の組織改変により「CCITT (国際電信電話諮問委員会)」から改称され、「CCITT 勧告」も「ITU-T 勧告」になりました。

TIFF (Tag Image File Format)

米 Aldus 社が制定した形式の画像ファイルです。

プリンタ出力ファイル

印刷時にプリンタへ出力されるデータをファイルとしたものです。

JPEG (Joint Photographic Experts Group)

ITU-T が定める画像圧縮・伸張方式で、カラー静止画像の圧縮技術の一つです。

Microsoft Word

米 Microsoft 社のワードプロセッサ・アプリケーションソフトです。

Adobe PDF (Portable Document Format)

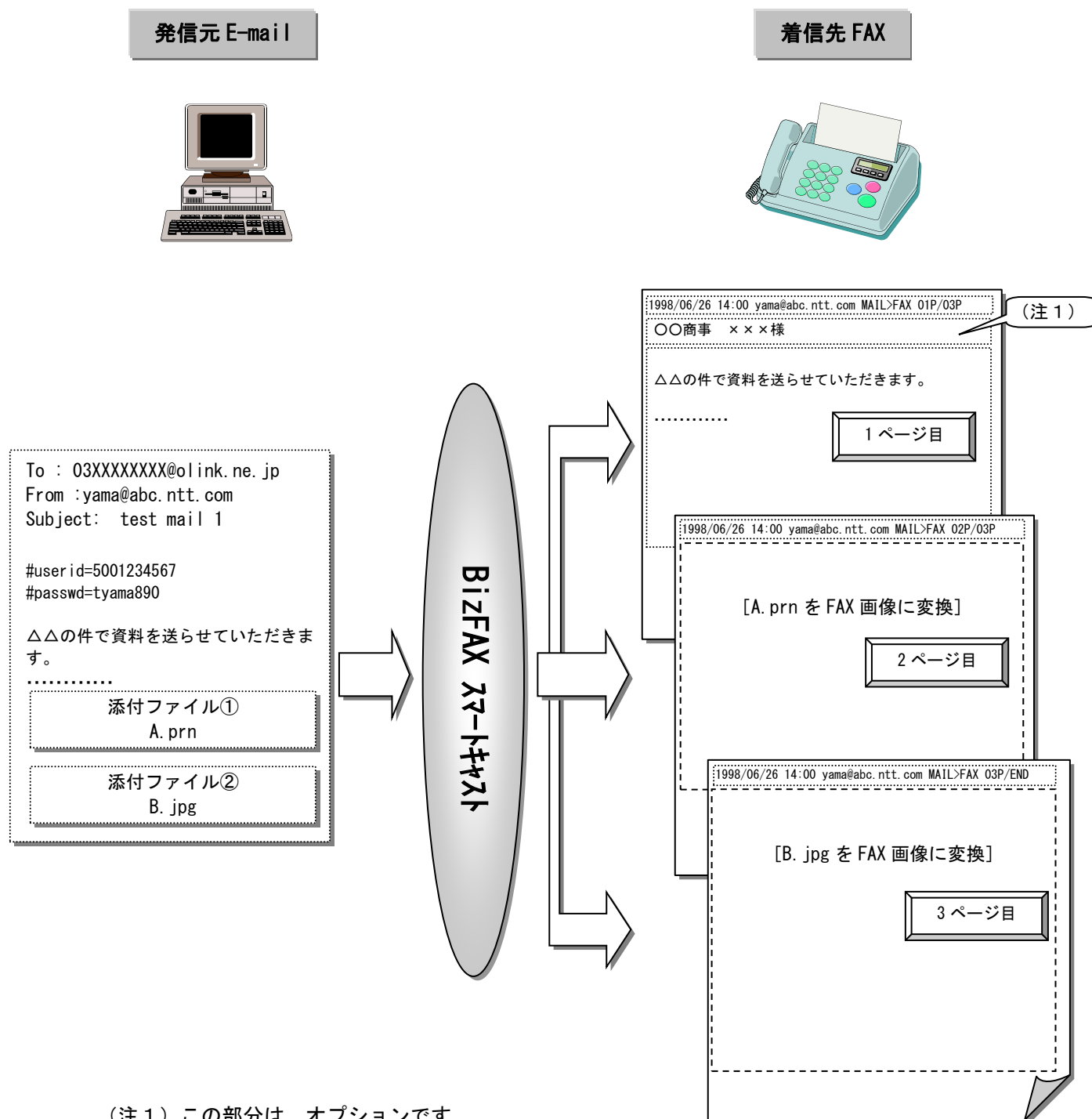
米 Adobe Systems 社が開発した文書交換フォーマットです。

Adobe Reader

米 Adobe Systems 社の Adobe PDF ファイルを閲覧・印刷できる無償配布のアプリケーションソフトです。

1.2 サービスの概要

スマートキャストの E-mail 接続サービスでは、電子メールを受付けて文章や添付ファイルを FAX 画面に変換して FAX へ送信する E-mail→FAX 通信（図 1.2.1）や FAX から受け付けた FAX イメージを TIFF または PDF 形式のファイルに変換して電子メールに添付して送信する FAX→E-mail 通信（図 1.2.2）が利用可能です。1 回の送信で最大 3,000 宛先まで同報が可能です。



(注 1) この部分は、オプションです。

図 1.2.1 E-mail → FAX の通信イメージ

発信元 FAX



着信先 E-mail

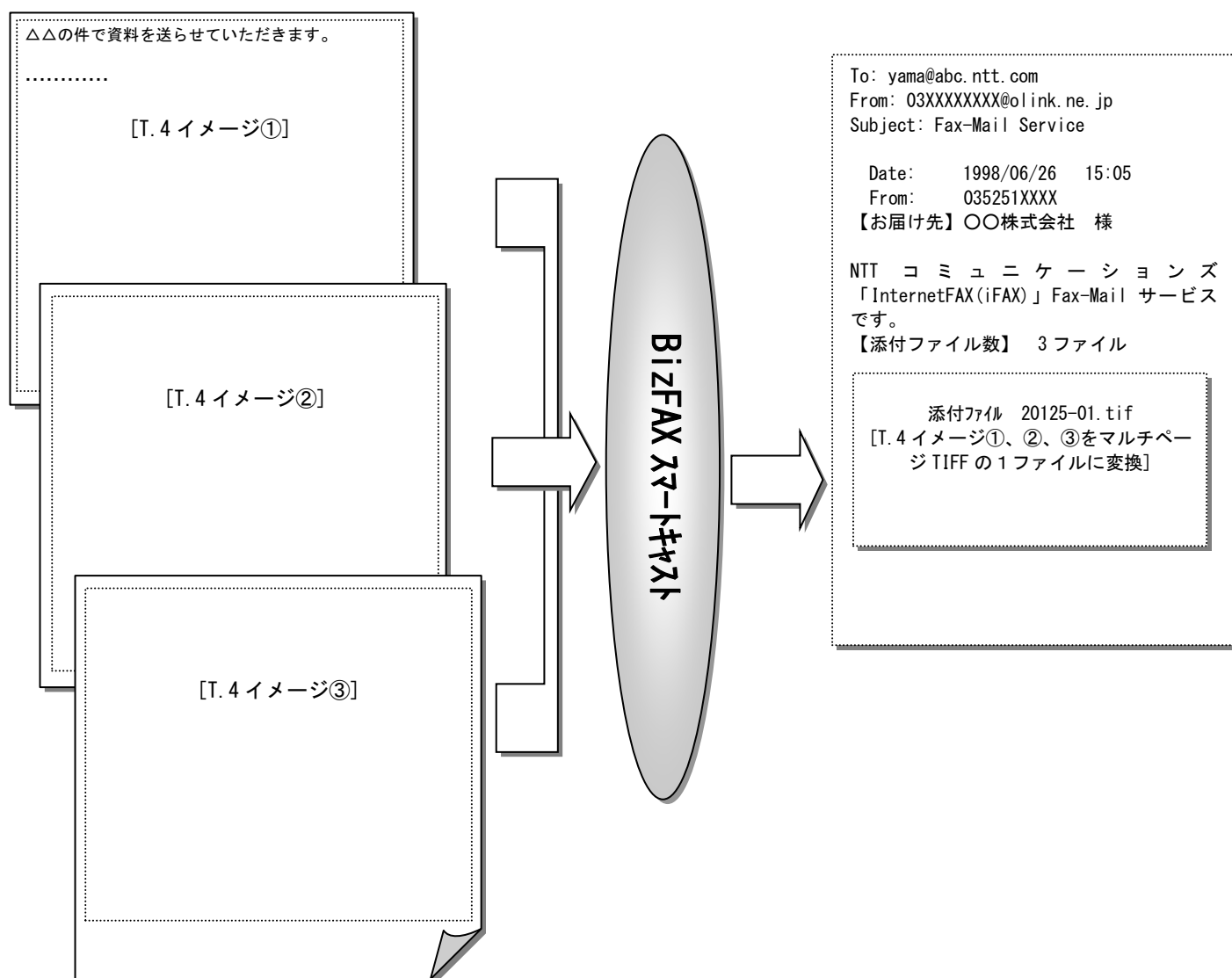
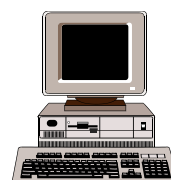


図 1.2.2 FAX→E-mail の通信イメージ

1.3 主なサービス

スマートキャストの E-mail 接続にて利用できる主なサービスの概要を説明します。

基本サービス

電話番号指定同報

電話番号で宛先を指定して電子メールの内容を FAX へ同報送信します。1 回の通信で 1 宛先から最大 10 宛先へ同報することができます。

宛先リスト同報

あらかじめスマートキャスト上に登録していただいた、宛先の電話番号と宛名のリストを指定することで同報送信をご利用いただけます。1 回の通信で最大 3,000 宛先まで一斉同報が可能です。

宛先ファイル同報

宛先の電話番号と宛名を記述したファイルを電子メールに添付していただくことで、一斉同報送信をご利用いただけます。1 回の通信で最大 3,000 宛先まで一斉同報が可能です。

送受信試験

発信されたメールに対して変換処理を行い、発信者に折り返しメールを配送します。

ファクシミリ案内

情報提供者がスマートキャスト上に登録した情報をファクシミリまたは電子メールで取り出すことができるサービスです。

付加サービス

時刻指定配送

スマートキャストから同報送信を開始する時刻を発信時刻から 96 時間までの範囲で設定することができます。昼間の間にスマートキャストへ向けて電子メールを送信しておき、実際に FAX へ配送するのは夜間などというご利用法が可能です。また、指定した送信開始時刻の 1 時間前までは送信を取り消すことができます。

再送信機能

同報送信を行った結果、なんらかの原因で送り届けられなかった FAX に対して、お客さまがメールを送り直すことなく再度送信指示を行うことができます。

基本機能

日付発番付加

配送する FAX 画面の各ページ最上段、又はメール本文先頭部分に、発信者情報（メールアドレスまたはお客さま番号）を記載します。

漢字宛名付与

宛先リスト同報、宛先ファイル同報を利用されたとき、配送する FAX 画面の 2 段目左端に漢字表記の宛名を記載します。宛名は発信者が自由に設定することができます。

自動再呼

宛先 FAX がお話し中等で送信できなかった場合、自動的に送信をリトライします。

通知メール返送

サービスの受付、配送結果のご案内等を発信者に電子メールで通知します。

お客さま側のメールサーバ瞬断等、一時的な要因で通知メールをお届けできなかった場合、自動的に再送します。

通常は、お客さまが発信したメール端末に通知メールをお届けします。

通知文出力端末指定

発信したメール端末ではなく、あらかじめ申し込みいただいた別のメール端末へ通知文をお届けします。

1.4 メールによる送受信

スマートキャストが配送を受け付ける電子メールを図 1.4.1 に、配送する電子メールのイメージを図 1.4.2 に示します。

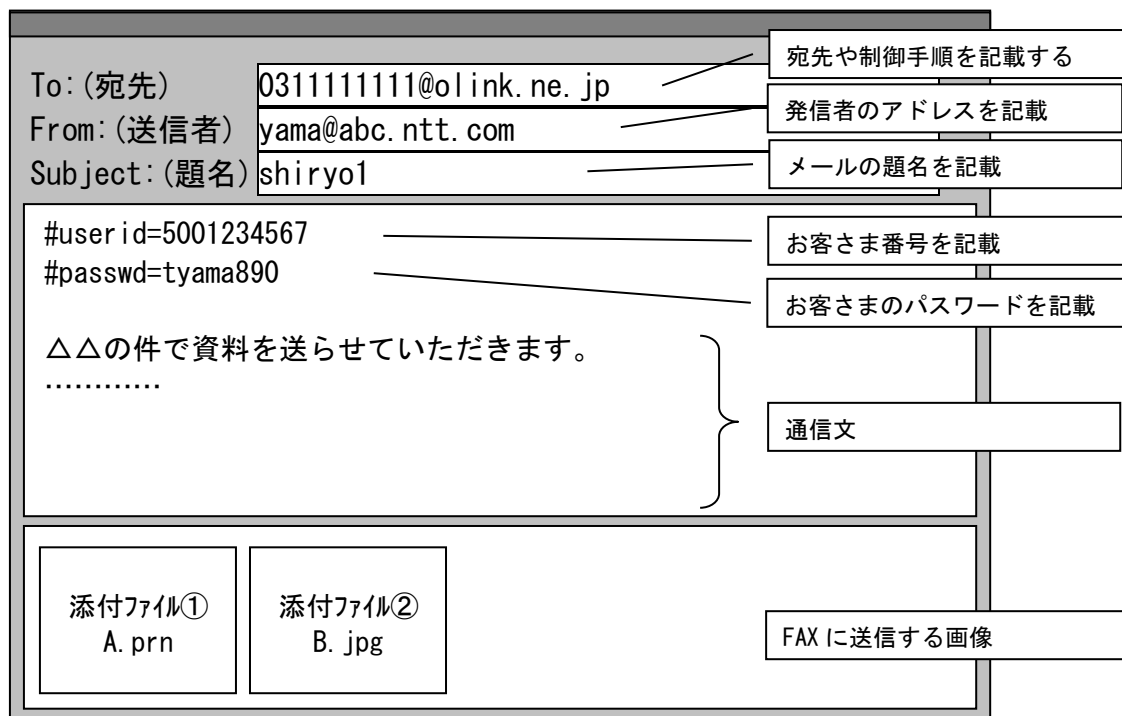


図 1.4.1 送信メールのイメージ

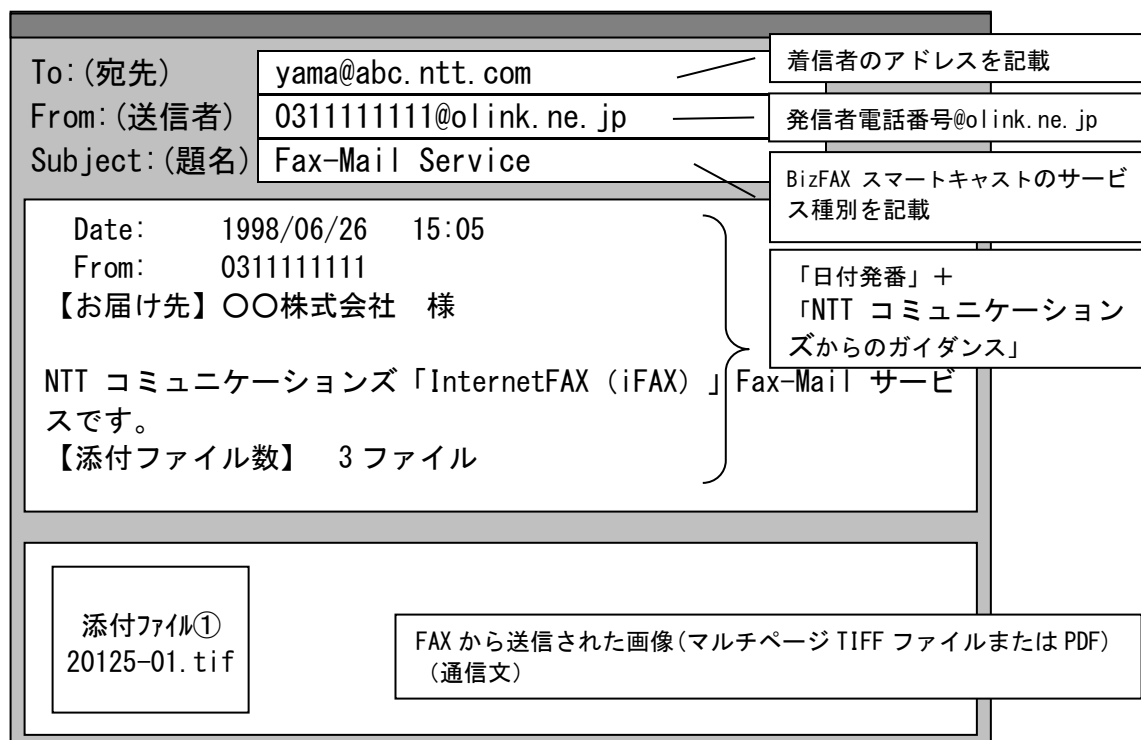


図 1.4.2 受信メールのイメージ

図 1.4.1、図 1.4.2 の各項目は、一般に使用されている多くのメールソフトにおいて設定することができます。

2 メール設定

2.1 メール設定の概要

スマートキャストにおいて使用される電子メールは SMTP 形式であり、メールヘッダとメールボディの 2 つから構成されています。

スマートキャストでは MIME によるマルチパート形式メッセージをサポートしています。マルチパート形式で設定されたメール本文、画像ファイル、テキスト文書等を受け付け、FAX 画像に変換して FAX へ配送します。

電子メールの送信および交換のためのプロトコル (SMTP) は RFC5321 および RFC5322 に定義されており、これに準拠していない電子メールは保証いたしません。

2.2 スマートキャストへの送信メール

スマートキャストでは受け付けたメールの SMTP メールヘッダを解析し、配送処理等に利用します。送信時にスマートキャストで扱う SMTP メールヘッダを表 2.2.1 に示します。

表 2.2.1 スマートキャストで扱う SMTP メールヘッダ (送信時)

項番	SMTP メールヘッダ	スマートキャストでの処理
1	From:	発信者の照合に用いる
2	To:	配送宛先の指定に用いる
3	Subject:	通知・案内メールの Subject: フィールドに設定する
4	Message-ID:	通知・案内メールの In-Reply-To: フィールドに設定する
5	Content-Type:	以下の設定値のみ許容する text/plain(メール本文のみの場合) multipart/mixed(添付ファイルがある場合)
6	その他	無視する

2.2.1 From:フィールド

発信者の E-mail アドレスを設定します。

スマートキャストにおいては、各種通知メール・案内メールの宛先情報となります。また、送信者が契約者であることの確認にも用います。

スマートキャストにおいて許容する From: フィールドは以下の条件を満たさなければなりません。From: の設定例を図 2.2.1 に示します。

“() ”によるコメント、および“<>”による実名形式を許容します。

[改行] + “半角スペース”、[改行] + “TAB”による折り畳みを許容します。

MIME エンコードされた状態で先頭から半角文字で 253 文字 (改行文字を除く) を切り出して、デコードを行います。メールアドレスを正常に切り出せなかった場合は受付できません。

From: Tarou Yamada<yama@abc.ntt.com>
① ②
①アカウント名 : メール送信者のアカウント名(注1)
②ドメイン名 : メール送信者のドメイン名(注1)

図 2.2.1 スマートキャスト利用時の From: の設定例

(注 1) RFC#822 条項で規定されている禁止文字をメールアドレスとすることはできません。本サービスで利用できない文字は以下のものとします。

()	<	>	,	;	'
:	¥	“	[]	*	

[注意] 網掛けの文字 (アスタリスク/アスタロフィ) については RFC#822 条項上メールアドレスとして用いてよい文字ですが、スマートキャストではご利用になれません。スマートキャストをご利用の際は、この文字を使用していないメールアドレスでのご利用をお願いいたします。

2.2.2 To:フィールド

配送宛先を指示するためのアドレスを設定します。

スマートキャスト利用時は、配送宛先指示や動作制御のためのコマンド・手順を含んだアドレスを記入します。

スマートキャストにおいて許容される To: フィールドの条件を以下に示します。

アドレスは 1 つのみ許容します。複数記述された場合は受付不可となります。

“アカウント名”にあたる部分に、スマートキャストに対する配送指示や動作制御のための手順を設定します。To: フィールド設定例を図 2.2.2 に示します。

配送宛先は国内宛先の場合、市外局番から始まる 10 桁の半角数字、海外宛先の場合、国番号の前に「010」を付与した【010+宛先国番号+宛先国内番号】形式で半角数字 18 桁以内で記述します。

(※) 「010」はスマートキャストで海外宛先を識別する国際識別番号です。

“ () ”によるコメント、および“ < > ”による実名形式を許容します。

[改行] + “半角スペース”、[改行] + “TAB”による折り畳みを許容します。

MIME エンコードされた状態で先頭から半角文字で 253 文字（改行文字を除く）を切り出して、デコードを行います。To: フィールド・データを正常に切り出せなかった場合は受付できません。

※国内 0312345678 と海外 12123456789 へ同報する場合
To: #2130312345678*01012123456789@olink.ne.jp

①

②

①アカウント名 : スマートキャストへの配送指示手順を設定する

②ドメイン名 : スマートキャストのドメインを設定する

図 2.2.2 スマートキャスト利用時の To: の設定例

2.2.3 Subject:フィールド

メールの題名を設定します。

スマートキャストにおける Subject: フィールドの受付条件を以下に示します。

“ () ”によるコメント、および“ < > ”による実名形式を許容します。

[改行] + “半角スペース”、[改行] + “TAB”による折り畳みを許容します。

MIME エンコードされた状態で先頭から半角文字で 255 文字（改行文字を除く）を切り出して、デコードを行います。255 文字を超える場合は切り捨てます。半角英数字と JIS コードの全角文字を許容します。

Subject:にはその送信メールが一意に判別できるような、任意の文章を記載されることをお奨めします

（送信メールに対して、スマートキャストから通知・案内メールが送られてくる際にその通知・案内メールの Subject:に同等の文章が記載されるため、どの送信メールに対する通知・案内メールかがわかるようになります）。

2.2.4 メールボディ

スマートキャストはメールボディを解析し、メール本文（注）の先頭に記述された内容を元に認証を行います。認証に利用するデータ（「お客さま番号」と「パスワード」）のメール本文への記述方法を以下に示します。記述例を図 2.2.4 に示します。なお、メールボディの変換条件は 3.2 章、メールボディのフォーマットに関しては、4 章を参照して下さい。

- （1）1 行目には「#userid=お客さま番号」という形式で、左詰に記載します。
“#userid=”は半角大文字または半角小文字のどちらでも許容します。”
お客さま番号”は 10 桁半角数字です。（空白は非許容）
- （2）2 行目には「#passwd=パスワード」という形式で、左詰に記載します。
“#passwd=”は半角英数字の大文字・小文字どちらでも許容します。”パスワード”は 6 桁～8 桁の半角英数字で、大文字・小文字の識別も行います。
（空白は非許容）

#userid=5001234567 #passwd=tyama890
--

#USERID=5001234567 #PASSWORD=tyama890
--

図 2.2.4 お客さま番号・パスワードの記載例

（注）メール本文とは、以下の条件を全て満たすものを指します。

- | |
|---|
| ①メールボディの先頭パートであること
②①におけるパートにおいて、Content-Type=text/plain であること
③①におけるパートにおいて、Content-Type の name パラメータおよび
Content-Disposition の filename パラメータが存在しないこと |
|---|

2.2.5 MIME

「ファクシミリ通信網サービスのインタフェースに関する技術資料(TCP/IP 接続編)」における「2.6.2 MIME」の章を参照して下さい。

2.2.6 S/MIME

「ファクシミリ通信網サービスのインタフェースに関する技術資料(TCP/IP 接続編)」における「2.6.3 S/MIME」の章を参照して下さい。

2.3 スマートキャストからの受信メール

お客さまがスマートキャストから受信するメールの SMTP メールヘッダの設定値を表 2.3.1 に示します。

表 2.3.1 スマートキャストで扱う SMTP メールヘッダ（受信時）

項番	メールヘッダ	スマートキャストでの処理		
		通知メール	案内メール	通信メール
1	From:	[admin@olink.ne.jp] 又は、 付加サービス利用のため のアドレスを設定	[admin@olink.ne.jp] を設定	[発信者電話番号@olink.ne.jp] を設定
2	To:	お客さまのメールアドレス		
3	Subject:	送信時の Subject に表 2.3.3 の固定メッセージ を付加		[Fax-Mail Service] または 送信時の Subject に表 2.3.3 の固定メッセージを付加
4	In-Reply-To:	送信メールに設定されていた Message-ID を設定		設定項目なし
5	Content-Type:	以下の値を設定する text/plain(メール本文のみの場合) multipart/mixed(添付ファイルがある場合) message/partial(注)		以下の値を設定します。 multipart/mixed message/partial(注)

(注) スマートキャストから送信するメールは、500KB 毎に分割を行います。

2.3.1 From: フィールド

スマートキャストから受信するメールについては、以下の 3 種類の例外を除いて [admin@olink.ne.jp] が設定されます。

- (1) 「再送信が可能な場合の配送結果通知メール」
- (2) 「時刻指定取消が可能な場合の受付通知メール」
- (3) 「通信メール」

これらの例外については、以下のように設定されます。

- (1) 「再送信が可能な場合の配送結果通知メール」の設定例を図 2.3.1 に示します。このメールに対する返信で「再送信」が可能です。

A) 通常のお知らせの場合（発信端末に通知文を出力する場合） From: #211XXXXX@olink.ne.jp <div style="margin-left: 40px;">① ②</div> <div style="margin-left: 40px;">①：再送信要求手順</div> <div style="margin-left: 40px;">②：受付番号（半角数字 5 桁）</div>	
B) 通知文出力端末指定の場合（別の端末に通知文を出力する場合） From: #211*ZZZZZZZZZZ*XXXXX@olink.ne.jp <div style="margin-left: 40px;">① ② ③</div> <div style="margin-left: 40px;">①：再送信要求手順</div> <div style="margin-left: 40px;">②：お客さま番号（半角数字 10 桁）</div> <div style="margin-left: 40px;">③：受付番号（半角数字 5 桁）</div>	

図 2.3.1 再送信可能な配送結果通知メールにおける From: の設定例

- (2) 「時刻指定取消可能な受付通知メール」の設定例を図 2.3.2 に示します。
このメールに対する返信で「時刻指定取消」が可能です。

A) 通常の通知文の場合（発信端末に通知文を出力する場合）

From: #290XXXXX@olink.ne.jp

① ②

① : 時刻指定取り消し要求手順

② : 受付番号（半角数字 5 桁）

B) 通知文出力端末指定の場合（別の端末に通知文を出力する場合）

From: #290*ZZZZZZZZZZ*XXXXX@olink.ne.jp

① ② ③

① : 時刻指定取り消し要求手順

② : お客さま番号（半角数字 10 桁）

③ : 受付番号（半角数字 5 桁）

図 2.3.2 時刻指定取消可能な受付通知メールにおける From: の設定例

- (3) 「通信メール」の設定例を図 2.3.3 に示します。
このメールに対する返信で発信者への通信が可能です。

From: 0311111111@olink.ne.jp

発信者番号

図 2.3.3 通信メールにおける From: フィールド の設定例

2.3.2 To:フィールド

スマートキャストから受信するメールは、表 2.3.2 に示すデータが To:フィールドに設定されます。

表 2.3.2 To:フィールドの設定値

メール種別	To:フィールドの設定値
通知メール	発信者のメールアドレス
案内メール	発信者のメールアドレス
通信メール	配送先のメールアドレス

2.3.3 Subject:フィールド

スマートキャストから受信するメールは、表 2.3.3 に示すデータが Subject:フィールドに設定されます。

表 2.3.3 Subject:フィールドに設定されるメッセージ一覧

メール種別	Subject:フィールドの設定値	備 考
通知メール	Acceptance:【送信時の Subject 内容】	受付通知を表します
	Reject:【送信時の Subject 内容】	受付不可通知を表します
	Result(OK):【送信時の Subject 内容】	配送結果通知を表します (全宛先に送達した場合)
	Result(NG):【送信時の Subject 内容】	配送結果通知を表します (送達できない宛先があった場合)
案内メール	Report:【送信時の Subject 内容】	登録確認案内を表します
通信メール	Fax-Mail Service	Fax-Mail 通信を表します
	Fax Info:【送信時の Subject 内容】	ファクシミリ案内通信を表します。

2.3.4 メールボディ

メールボディには JIS コードテキストでメール本文を設定し、コンテンツを添付ファイルとして設定します。

メールフォーマットの詳細については「4 メールフォーマット」を参照して下さい。

2.4 メールサーバ設定時の注意事項

メールの送受信において、MTA (sendmail など) のバージョンによっては、ident プロトコル [RFC1413: 認証サーバプロトコル] を使用しているものがあります。

スマートキャストでは、この ident プロトコルをサポートしておりませんので、お客さまのメールサーバの設定によっては、スマートキャストから送信されるメールに対して遅延が発生する場合があります。

(スマートキャストが受信する場合には発生しません)

スマートキャストからお客さまのメールサーバへ送信されるメールに対する遅延対処方法として、お客さまのメールサーバに対する設定例を以下に2種類示します。

- ①ident プロトコルを使用しない。
- ②ident の応答タイムアウト値を【0秒】にする。

3 コンテンツ変換条件

3.1 概要

スマートキャストでは、電子メールから FAX 画像へ、もしくは FAX 画像から電子メールへの変換を行い、宛先へ配送します。

電子メールを利用した入力コンテンツの FAX 画像への変換条件を 3.2 章および 3.3 章に示し、FAX 手順を利用して受信した FAX 画像の出力コンテンツへの変換条件を 3.4 章に示します。

3.2 入力コンテンツ条件（メール本文）

「メール本文」の変換条件に関して本節で示し、「添付ファイル」の変換条件に関しては 3.3 章で示します。メール本文の受付条件を以下に示します。

○文字コード

「US-ASCII」および「JIS X 0208-1983」で規定された領域のコードを変換することができます。そのうち、出力可能な文字セットは「JIS X 0208-1983」で指定された図形文字および表 3.2.1 ～ 表 3.2.5 に示したスマートキャストの出力文字です。「JIS X 0208-1983」で規定された領域のうち、その他のコードを指定した場合は「・」で出力します。また、「US-ASCII」と「JIS X 0208-1983」の領域に含まれないコードの出力は保証いたしません。

○1行あたりの最大バイト数

1,000 バイトとします。

○制御コード

- (1) [CR] [LF] (0Dh 0Ah) を改行コードとします。
- (2) タブ(9h)を半角スペース 8 文字とします。
- (3) 改ページコード(Ch)を指定することが可能です。
- (4) 上記(1)から(3)以外の制御コードが指定された場合の出力は保証いたしません。

メール本文から FAX 画像への変換条件を以下に示します。

○変換後の FAX 画像の解像度

主走査線密度：8.0 画素/mm・副走査線密度：7.7 本/mm (G3 ファイン相当)

○用紙サイズ

- (1) 該当ページが 36 行以下の場合

A4 判の横幅で 0.5 ページ分の長さ (1728dots×1224 本) で出力します。ただし出力領域は以下の余白を除いた領域とします。

用紙サイズ	余白 (単位 mm)			
	左	右	上	下
A4	12.5	15.0	10.4	13.0

- (2) 該当ページが 37 行以上の場合

A4 判の横幅で 1 ページ分の長さ (1728dots×2287 本) で出力します。ただし出力領域は以下の余白を除いた領域とします。

用紙サイズ	余白 (単位 mm)			
	左	右	上	下
A4	12.5	15.0	10.4	13.0

○画像符号化方式

端末とのネゴシエーションの結果決定する符号化方式

○1行の最大文字数

半角 83 文字 (全角文字のみの場合は最大 41 文字)

(半角・全角文字の混在可。最大文字数を超える場合は改行、次行に出力)

○1 ページの最大行数および改ページ

- (1) 1 ページの最大行数は 72 行とします。最大行数を超えた部分は次のページの先頭から出力します。
- (2) 改ページコード(Ch)が指定された場合は、改ページコードの直前でページを終了し、改ページコードの直後から次のページを開始します。
- (3) ファイル末尾に改ページコードがあった場合、および、改ページ以降に改行コードのみ指定されている場合は改ページコード以降のページは出力しません。
- (4) 改ページコードが連続した場合は 0.5 ページ分の白紙を出力します。
- (5) 72 行目の途中で改ページコードがある場合は (1) の改ページと (2) の改ページが適用され、次ページの先頭に改ページコードが指定されているものと見なし、(4) と同様 0.5 ページ分の白紙が出力されます。

○変換対象外となるデータ

以下の 2 項目は変換対象ではなく、配送先 FAX には出力しません。

- (1) メール本文先頭に記述された「お客さま番号」と「パスワード」
- (2) ファイル末尾の改行コード

<その他注意事項>

JIS2004 に対応したフォントで出力されます。

FAX への出カイメージは、FAX の解像度への変換などによりお客さまの環境下での印刷イメージ (フォントサイズや罫線など) と異なる場合があります。事前にテスト送信にて出カイメージを確認されることをお勧めします。

表 3.2.1 スマートキャストでサポートする JIS コード (その 1)

JIS コード	JIS X 0208-1983	スマートキャストの 出力文字	JIS コード	JIS X 0208-1983	スマートキャストの 出力文字
0x2d21	未定義	①	0x2d50	未定義	mm
0x2d22		②	0x2d51		cm
0x2d23		③	0x2d52		km
0x2d24		④	0x2d53		mg
0x2d25		⑤	0x2d54		kg
0x2d26		⑥	0x2d55		cc
0x2d27		⑦	0x2d56		m ²
0x2d28		⑧	0x2d5f		平成
0x2d29		⑨	0x2d60		〃
0x2d2a		⑩	0x2d61		〃
0x2d2b		⑪	0x2d62		No.
0x2d2c		⑫	0x2d63		K.K.
0x2d2d		⑬	0x2d64		TEL
0x2d2e		⑭	0x2d65		Ⓐ
0x2d2f		⑮	0x2d66		Ⓑ
0x2d30		⑯	0x2d67		Ⓒ
0x2d31		⑰	0x2d68		Ⓓ
0x2d32		⑱	0x2d69		Ⓔ
0x2d33		⑲	0x2d6a		(株)
0x2d34		⑳	0x2d6b		(有)
0x2d35		I	0x2d6c		(代)
0x2d36		II	0x2d6d		明治
0x2d37		III	0x2d6e		大正
0x2d38		IV	0x2d6f		昭和
0x2d39		V	0x2d70		≡
0x2d3a		VI	0x2d71		≡
0x2d3b		VII	0x2d72		∫
0x2d3c		VIII	0x2d73		φ
0x2d3d		IX	0x2d74		Σ
0x2d3e		X	0x2d75		√
0x2d40		ミリ	0x2d76		⊥
0x2d41		キロ	0x2d77		∠
0x2d42		センチ	0x2d78		└
0x2d43		メートル	0x2d79		∠
0x2d44		グラム	0x2d7A		∴
0x2d45		トン	0x2d7B		∩
0x2d46		アール	0x2d7C		U
0x2d47		ヘクタール			
0x2d48		リットル			
0x2d49		ワット			
0x2d4a		カロ			
0x2d4b		ドル			
0x2d4c		セント			
0x2d4d		パーセント			
0x2d4e		ミリバル			
0x2d4f		ページ			

表 3.2.2 スマートキャストでサポートする JIS コード (その 2)

JIS コード	JIS X 0208-1983	スマートキャストの 出力文字	JIS コード	JIS X 0208-1983	スマートキャストの 出力文字
0x7921	未定義	續	0x7950	未定義	邵
0x7922		襲	0x7951		厓
0x7923		鎡	0x7952		厲
0x7924		銑	0x7953		𪔐
0x7925		𪔑	0x7954		𪔒
0x7926		𪔓	0x7955		𪔔
0x7927		𪔕	0x7956		𪔖
0x7928		𪔗	0x7957		𪔘
0x7929		精	0x7958		𪔚
0x792A		銀	0x7959		𪔛
0x792B		昇	0x795A		𪔜
0x792C		𪔝	0x795B		𪔞
0x792D		𪔟	0x795C		𪔠
0x792E		𪔡	0x795D		𪔢
0x792F		任	0x795E		𪔣
0x7930		𪔥	0x795F		𪔦
0x7931		𪔧	0x7960		塚
0x7932		𪔩	0x7941		増
0x7933		𪔫	0x7962		𪔭
0x7934		𪔬	0x7963		𪔮
0x7935		𪔰	0x7964		𪔱
0x7936		𪔲	0x7965		𪔳
0x7937		𪔴	0x7966		𪔵
0x7938		𪔶	0x7967		𪔷
0x7939		𪔸	0x7968		𪔹
0x793A		𪔺	0x7969		妹
0x793B		𪔼	0x796A		𪔾
0x793C		𪔽	0x796B		𪔿
0x793D		𪔿	0x796C		𪕀
0x793E		𪕁	0x796D		𪕂
0x793F		𪕃	0x796E		𪕄
0x7940		𪕅	0x796F		𪕆
0x7941		𪕇	0x7970		𪕈
0x7942		𪕉	0x7971		𪕊
0x7943		𪕋	0x7972		𪕌
0x7944		𪕍	0x7973		𪕎
0x7945		𪕏	0x7974		𪕐
0x7946		𪕑	0x7975		𪕒
0x7947		𪕓	0x7976		𪕔
0x7948		𪕕	0x7977		𪕖
0x7949		𪕗	0x7978		𪕘
0x794A		𪕙	0x7979		𪕚
0x794B		𪕛	0x797A		𪕜
0x794C		𪕝	0x797B		𪕞
0x794D		𪕟	0x797C		𪕠
0x794E		𪕡	0x797D		𪕢
0x794F		𪕣	0x797E		𪕤

表 3.2.3 スマートキャストでサポートする JIS コード (その 3)

JIS コード	JIS X 0208-1983	スマートキャストの 出力文字	JIS コード	JIS X 0208-1983	スマートキャストの 出力文字
0x7A21	未定義	恣	0x7A50	未定義	榉
0x7A22		恣	0x7A51		榊
0x7A23		悦	0x7A52		榎
0x7A24		恣	0x7A53		榎
0x7A25		恣	0x7A54		横
0x7A26		恣	0x7A55		舞
0x7A27		恣	0x7A56		櫛
0x7A28		恣	0x7A57		櫛
0x7A29		恣	0x7A58		櫛
0x7A2A		恣	0x7A59		櫛
0x7A2B		恣	0x7A5A		恣
0x7A2C		恣	0x7A5B		汎
0x7A2D		或	0x7A5C		汎
0x7A2E		柄	0x7A5D		汎
0x7A2F		捷	0x7A5E		汎
0x7A30		捷	0x7A5F		汎
0x7A31		捷	0x7A60		汎
0x7A32		擎	0x7A41		涇
0x7A33		教	0x7A62		涇
0x7A34		昀	0x7A63		涇
0x7A35		昀	0x7A64		涇
0x7A36		昂	0x7A65		涇
0x7A37		昉	0x7A66		清
0x7A38		昂	0x7A67		澆
0x7A39		昉	0x7A68		森
0x7A3A		昉	0x7A69		洵
0x7A3B		昉	0x7A6A		湜
0x7A3C		昉	0x7A6B		湜
0x7A3D		昉	0x7A6C		湜
0x7A3E		晴	0x7A6D		湜
0x7A3F		皙	0x7A6E		澈
0x7A40		曙	0x7A6F		漸
0x7A41		暘	0x7A70		濱
0x7A42		障	0x7A71		澄
0x7A43		曙	0x7A72		濱
0x7A44		曹	0x7A73		瀨
0x7A45		脛	0x7A74		炅
0x7A46		朗	0x7A75		炫
0x7A47		杻	0x7A76		炅
0x7A48		榎	0x7A77		焄
0x7A49		桒	0x7A78		焄
0x7A4A		被	0x7A79		焄
0x7A4B		柳	0x7A7A		焄
0x7A4C		桃	0x7A7B		焄
0x7A4D		榎	0x7A7C		焄
0x7A4E		榎	0x7A7D		焄
0x7A4F		榎	0x7A7E		焄

表 3.2.4 スマートキャストでサポートする JIS コード (その 4)

JIS コード	JIS X 0208-1983	スマートキャストの 出力文字	JIS コード	JIS X 0208-1983	スマートキャストの 出力文字
0x7B21	未定義	狢	0x7B50	未定義	粹
0x7B22		狣	0x7B51		縁
0x7B23		猪	0x7B52		緒
0x7B24		獾	0x7B53		繪
0x7B25		珣	0x7B54		罇
0x7B26		珉	0x7B55		羨
0x7B27		珖	0x7B56		羽
0x7B28		珘	0x7B57		茁
0x7B29		肆	0x7B58		芋
0x7B2A		琇	0x7B59		莨
0x7B2B		琡	0x7B5A		菇
0x7B2C		琦	0x7B5B		蕐
0x7B2D		琪	0x7B5C		菓
0x7B2E		琨	0x7B5D		蒟
0x7B2F		琬	0x7B5E		蕙
0x7B30		琤	0x7B5F		蕙
0x7B31		璉	0x7B60		董
0x7B32		璟	0x7B41		膈
0x7B33		瓶	0x7B62		薰
0x7B34		峻	0x7B63		穉
0x7B35		皂	0x7B64		甦
0x7B36		皛	0x7B65		螻
0x7B37		皞	0x7B66		裴
0x7B38		皦	0x7B67		訃
0x7B39		皛	0x7B68		諄
0x7B3A		益	0x7B69		詹
0x7B3B		皖	0x7B6A		誦
0x7B3C		劭	0x7B6B		闇
0x7B3D		砭	0x7B6C		覬
0x7B3E		劓	0x7B6D		諸
0x7B3F		硃	0x7B6E		謚
0x7B40		礪	0x7B6F		諛
0x7B41		礪	0x7B70		諛
0x7B42		礼	0x7B71		賸
0x7B43		神	0x7B72		賴
0x7B44		祥	0x7B73		賢
0x7B45		禔	0x7B74		赶
0x7B46		福	0x7B75		赳
0x7B47		禎	0x7B76		軌
0x7B48		竝	0x7B77		返
0x7B49		竝	0x7B78		逸
0x7B4A		靖	0x7B79		遄
0x7B4B		靖	0x7B7A		郎
0x7B4C		簪	0x7B7B		都
0x7B4D		精	0x7B7C		鄉
0x7B4E		紮	0x7B7D		鄧
0x7B4F		絜	0x7B7E		釃

表 3.2.5 スマートキャストでサポートする JIS コード (その 5)

JIS コード	JIS X 0208-1983	スマートキャストの 出力文字	JIS コード	JIS X 0208-1983	スマートキャストの 出力文字
0x7C21	未定義	釧	0x7C50	未定義	鵠
0x7C22		釧	0x7C51		鵠
0x7C23		釧	0x7C52		鵠
0x7C24		釧	0x7C53		鵠
0x7C25		釧	0x7C54		鵠
0x7C26		釧	0x7C55		鵠
0x7C27		釧	0x7C56		鵠
0x7C28		釧	0x7C57		鵠
0x7C29		釧	0x7C58		鵠
0x7C2A		釧	0x7C59		鵠
0x7C2B		釧	0x7C5A		鵠
0x7C2C		釧	0x7C5B		鵠
0x7C2D		釧	0x7C5C		鵠
0x7C2E		釧	0x7C5D		鵠
0x7C2F		釧	0x7C5E		鵠
0x7C30		釧	0x7C5F		鵠
0x7C31		釧	0x7C60		鵠
0x7C32		釧	0x7C41		鵠
0x7C33		釧	0x7C62		鵠
0x7C34		釧	0x7C63		鵠
0x7C35		釧	0x7C64		鵠
0x7C36		釧	0x7C65		鵠
0x7C37		釧	0x7C66		鵠
0x7C38		釧	0x7C67		鵠
0x7C39		釧	0x7C68		鵠
0x7C3A		釧	0x7C69		鵠
0x7C3B		釧	0x7C6A		鵠
0x7C3C		釧	0x7C6B		鵠
0x7C3D		釧	0x7C6C		鵠
0x7C3E		釧	0x7C6D		鵠
0x7C3F		釧	0x7C6E		鵠
0x7C40		釧	0x7C71		i
0x7C41		釧	0x7C72		ii
0x7C42		釧	0x7C73		iii
0x7C43		釧	0x7C74		iv
0x7C44		釧	0x7C75		v
0x7C45		釧	0x7C76		vi
0x7C46		釧	0x7C77		vii
0x7C47		釧	0x7C78		viii
0x7C48		釧	0x7C79		ix
0x7C49		釧	0x7C7A		x
0x7C4A		釧	0x7C7B		一
0x7C4B		釧	0x7C7C		!
0x7C4C		釧	0x7C7D		,
0x7C4D		釧	0x7C7E		”
0x7C4E		間			
0x7C4F		隆			

3.3 入力コンテンツ条件（添付ファイル）

MIME のマルチパートメッセージにより添付されたファイルの FAX 画像変換条件について述べます。ただし、ご利用になる機種によっては機種依存のヘッダ情報等が付加されることがあります（例：Macintosh のリソースフォーク等）。ヘッダ情報が付加されたファイルをご利用になると正常出力の保証ができません。

なお、添付されるファイルやスマートキャストで変換された後の FAX イメージにもサイズの上限がありますので、6 項「その他注意事項」をご確認ください。

3.3.1 テキスト文書ファイル

スマートキャストでは、以下の条件を満たすテキスト文書ファイルを FAX 画像へ変換して配送します。

テキスト文書ファイルの受付条件を以下に示します。

○拡張子

ファイル名の拡張子が TXT または txt であるファイルを変換の対象とします。Content-Type にはなりません。

○文字コード

以下の 2 種類の文字コードが受付可能です。ただし、文字コードによって受付可能な MIME エンコード方式が異なるため、表 3.3.1 に従った MIME エンコード方式でエンコードされたテキストファイルを受け付けます。

（1）JIS コード

「US-ASCII」および「JIS X 0208-1983」で規定された領域のコードを変換することができます。そのうち、出力可能な文字セットは「JIS X 0208-1983」で指定された図形文字および表 3.2.1 ～ 表 3.2.5 に示したスマートキャストの出力文字です。「JIS X 0208-1983」で規定された領域のうち、その他のコードを指定した場合は「・」で出力します。また、「US-ASCII」と「JIS X 0208-1983」の領域に含まれないコードの出力は保証致しません。

（2）Shift JIS コード

「JIS X 0208-1997 付属書 1 シフト符号化表現」で規定された領域のコードを変換することができます。そのうち、出力可能な文字セットは「JIS X 0208-1983」で指定された図形文字、表 3.2.1 ～ 表 3.2.5 に示したスマートキャストの出力文字です。これに加え表 3.3.2 ～ 表 3.3.4 に示したスマートキャストの出力文字も出力することができます。その他の Shift JIS コードを指定した場合は「・」で出力します。また、「JIS X 0208 1997 付属書 1 シフト符号化表現」と表 3.3.2 ～ 表 3.3.4 で規定された領域外のコードの出力は保証致しません。

表 3.3.1 テキストファイルの文字コードと MIME エンコード

文字コード	MIME エンコード
JIS	7bit, 8bit
Shift JIS	BASE64, quoted-printable

○1 行あたりの最大バイト数

1,000 バイトとします。

○制御コード

- (1) [CR][LF] (0Dh 0Ah) または [LF] (0Ah) を改行コードとします。
- (2) タブ (9h) を半角スペース 8 文字とします。
- (3) 改ページコード (Ch) を指定することが可能です。
- (4) ファイル終了コードを付加する場合は [EOF] (1Ah 1Dh) とします (文字コードが JIS の場合のみ。SJIS の場合には出力を保証致しません)。
- (5) 上記 (1) から (4) 以外の制御コードが指定された場合の出力は保証致しません。

テキスト文書ファイルから FAX 画像への変換条件を以下に示します。

○解像度

主走査線密度 : 8.0 画素/mm ・ 副走査線密度 : 7.7 本/mm (G3 ファイン相当)

○用紙サイズ

- (1) 該当ページが 36 行以下の場合

A4 判の横幅で 0.5 ページ分の長さ (1728dots×1224 本) で出力します。
ただし出力領域は以下の余白を除いた領域とします。

用紙サイズ	余白 (単位 mm)			
	左	右	上	下
A4	13.8	15.0	10.4	13.0

- (2) 該当ページが 37 行以上の場合

A4 判の横幅で 1 ページ分の長さ (1728dots×2287 本) で出力します。
ただし出力領域は以下の余白を除いた領域とします。

用紙サイズ	余白 (単位 mm)			
	左	右	上	下
A4	13.8	15.0	10.4	13.0

○画像符号化方式

端末とのネゴシエーションの結果決定する符号化方式

○1 行の最大文字数

半角 83 文字

(半角・全角文字の混在可。全角最大 41 文字。これを超える場合は改行して、次行に出力)

○1 ページの最大行数および改ページ

- (1) 1 ページの最大行数は 72 行とします。最大行数を超えた部分は次のページの先頭から出力します。
- (2) 改ページコード (Ch) が指定された場合は、改ページコードの直前でページを終了し、改ページコードの直後から次のページを開始します。
- (3) ファイル末尾に改ページコードがあった場合、および、改ページ以降に改行コードのみ指定されている場合は改ページコード以降のページは出力しません。
- (4) 改ページコードが連続した場合は 0.5 ページ分の白紙を出力します。
- (5) 72 行目の途中で改ページコードがある場合は (1) の改ページと (2) の改ページが適用され、次ページの先頭に改ページコードが指定されているものと見なし、(4) と同様 0.5 ページ分の白紙が出力されます。

○ファイル末尾の改行コードは、全て出力対象としません。

<その他注意事項>

JIS2004 に対応したフォントで出力されます。

FAX への出力イメージは、FAX の解像度への変換などによりお客さまの環境下での印刷イメージ (フォントサイズや罫線など) と異なる場合があります。事前にテスト送信にて出力イメージを確認されることをお勧めします。

表 3.3.2 スマートキャストでサポートする S-JIS コード (その 1)

S-JIS コード	スマートキャスト の出力文字	S-JIS コード	スマートキャスト の出力文字	S-JIS コード	スマートキャスト の出力文字
FA40	i	FA70	侏	FAA0	麥
FA41	ii	FA71	侑	FAA1	裔
FA42	iii	FA72	侔	FAA2	裔
FA43	iv	FA73	俚	FAA3	裔
FA44	v	FA74	俛	FAA4	好
FA45	vi	FA75	倅	FAA5	妹
FA46	vii	FA76	倅	FAA6	仔
FA47	viii	FA77	倅	FAA7	柰
FA48	ix	FA78	倅	FAA8	甯
FA49	x	FA79	倅	FAA9	寬
FA4A	I	FA7A	倅	FAAA	寬
FA4B	II	FA7B	倅	FAAB	奈
FA4C	III	FA7C	倅	FAAC	岢
FA4D	IV	FA7D	倅	FAAD	岑
FA4E	V	FA7E	允	FAAE	岢
FA4F	VI	FA80	魑	FAAF	崧
FA50	VII	FA81	宜	FAB0	崧
FA51	VIII	FA82	洽	FAB1	崎
FA52	IX	FA83	鼠	FAB2	嶺
FA53	X	FA84	劦	FAB3	嶺
FA54	一	FA85	加	FAB4	嶺
FA55	丨	FA86	劦	FAB5	嶺
FA56	’	FA87	劦	FAB6	嶺
FA57	”	FA88	劦	FAB7	距
FA58	(株)	FA89	勻	FAB8	弇
FA59	No.	FA8A	勿	FAB9	彳
FA5A	Tel	FA8B	匡	FABA	德
FA5B	’	FA8C	邵	FABB	忒
FA5C	續	FA8D	匡	FABC	愬
FA5D	襲	FA8E	厲	FABD	悅
FA5E	鎂	FA8F	圾	FABE	愬
FA5F	銑	FA90	雙	FABF	愬
FA60	葩	FA91	吃	FAC0	惕
FA61	倍	FA92	咏	FAC1	愬
FA62	妬	FA93	咩	FAC2	憚
FA63	昱	FA94	智	FAC3	憚
FA64	精	FA95	喆	FAC4	愬
FA65	銀	FA96	烝	FAC5	愬
FA66	昇	FA97	坦	FAC6	愬
FA67	彌	FA98	拱	FAC7	或
FA68	丨	FA99	竣	FAC8	柄
FA69	仡	FA9A	埔	FAC9	捷
FA6A	任	FA9B	浴	FACA	揔
FA6B	佗	FA9C	塚	FACB	揔
FA6C	仔	FA9D	增	FACC	擎
FA6D	但	FA9E	壩	FACD	教
FA6E	秘	FA9F	參	FACE	昀
FA6F	佞			FACF	听

表 3.3.3 スマートキャストでサポートする S-JIS コード (その 2)

S-JIS コード	スマートキャスト の出力文字	S-JIS コード	スマートキャスト の出力文字	S-JIS コード	スマートキャスト の出力文字
FAD0	昂	FB40	洩	FB70	皂
FAD1	防	FB41	滓	FB71	皤
FAD2	昂	FB42	淠	FB72	皤
FAD3	晒	FB43	清	FB73	皤
FAD4	吟	FB44	流	FB74	皤
FAD5	皖	FB45	森	FB75	益
FAD6	吟	FB46	洵	FB76	皖
FAD7	峻	FB47	湜	FB77	劭
FAD8	晴	FB48	滌	FB78	砭
FAD9	皙	FB49	湊	FB79	劭
FADA	晡	FB4A	滌	FB7A	硤
FADB	晡	FB4B	澈	FB7B	礫
FADC	障	FB4C	漸	FB7C	礪
FADD	晡	FB4D	瀆	FB7D	礼
FADE	曹	FB4E	滢	FB7E	神
FADF	脛	FB4F	瀆	FB80	祥
FAE0	朗	FB50	瀨	FB81	禔
FAE1	杻	FB51	炅	FB82	福
FAE2	桤	FB52	炫	FB83	禔
FAE3	桤	FB53	炅	FB84	竝
FAE4	被	FB54	焄	FB85	靖
FAE5	柳	FB55	焄	FB86	靖
FAE6	桃	FB56	焄	FB87	靖
FAE7	得	FB57	焄	FB88	簍
FAE8	梲	FB58	焄	FB89	精
FAE9	楨	FB59	焄	FB8A	紮
FAEA	榉	FB5A	焄	FB8B	紮
FAEB	榉	FB5B	焄	FB8C	紮
FAEC	榉	FB5C	焄	FB8D	綠
FAED	榉	FB5D	焄	FB8E	緒
FAEE	横	FB5E	猪	FB8F	繪
FAEF	穉	FB5F	獠	FB90	罇
FAF0	櫛	FB60	珣	FB91	羨
FAF1	櫛	FB61	珣	FB92	羽
FAF2	櫛	FB62	珣	FB93	茁
FAF3	櫛	FB63	珣	FB94	芋
FAF4	毖	FB64	肆	FB95	葦
FAF5	汎	FB65	琇	FB96	菇
FAF6	汜	FB66	琇	FB97	葦
FAF7	汎	FB67	琦	FB98	葦
FAF8	泓	FB68	琪	FB99	萌
FAF9	泚	FB69	琇	FB9A	蕓
FAFA	洄	FB6A	琇	FB9B	蕓
FAFB	涇	FB6B	琇	FB9C	蕓
FAFC	涇	FB6C	璉	FB9D	藹
		FB6D	璉	FB9E	藹
		FB6E	瓶	FB9F	藹
		FB6F	峻		

表 3.3.4 スマートキャストでサポートする S-JIS コード (その 3)

S-JIS コード	スマートキャスト の出力文字	S-JIS コード	スマートキャスト の出力文字	S-JIS コード	スマートキャスト の出力文字
FBA0	姓	FBD0	銅	FC40	鯿
FBA1	蟻	FBD1	鋳	FC41	鯿
FBA2	衰	FBD2	鋳	FC42	鯿
FBA3	訃	FBD3	鋳	FC43	鯿
FBA4	紳	FBD4	鋳	FC44	鯿
FBA5	詹	FBD5	鋳	FC45	鯿
FBA6	誦	FBD6	鋳	FC46	鯿
FBA7	閭	FBD7	鋳	FC47	鯿
FBA8	覬	FBD8	鋳	FC48	鯿
FBA9	諸	FBD9	鋳	FC49	鯿
FBAA	謹	FBDA	鋳	FC4A	鯿
FBAB	諱	FBDB	鋳	FC4B	鯿
FBAC	諱	FBDC	鋳		
FBAD	賸	FBDD	鋳		
FBAE	賴	FBDE	鋳		
FBAF	賢	FBD F	鋳		
FBB0	赶	FBE0	鋳		
FBB1	赳	FBE1	鋳		
FBB2	軌	FBE2	鋳		
FBB3	返	FBE3	鋳		
FBB4	逸	FBE4	鋳		
FBB5	遼	FBE5	鋳		
FBB6	郎	FBE6	鋳		
FBB7	都	FBE7	鋳		
FBB8	鄉	FBE8	閑		
FBB9	鄧	FBE9	隆		
FBBA	鈎	FBEA	鵠		
FB BB	劍	FBEB	鵠		
FBBC	釵	FBEC	隣		
FBBD	釵	FBED	隣		
FBBE	鈇	FBEE	靈		
FB BF	鈇	FB EF	靈		
FBC0	鈇	FBF0	靈		
FBC1	鈇	FBF1	靈		
FBC2	鈇	FBF2	青		
FBC3	鈇	FBF3	晴		
FBC4	鈇	FBF4	顯		
FBC5	鉀	FBF5	顯		
FBC6	鉀	FBF6	飯		
FBC7	鉀	FBF7	飼		
FBC8	鉀	FBF8	餵		
FBC9	鉀	FBF9	館		
FB CA	鉀	FBFA	辭		
FB CB	鉀	FBFB	隣		
FBCC	鉀	FBFC	高		
FB CD	鉀				
FBCE	鉀				
FB CF	鉀				

3.3.2 TIFF 形式画像ファイル

スマートキャストでは、以下の条件を満たす TIFF 形式画像ファイルを FAX 画像へ変換して配送を行います。

ファイル名の拡張子が TIF または tif であるファイルを変換の対象とします。バージョンは「TIFF リビジョン 6」です。Content-Type にはなりません。

受付可能な画像形式としては、以下の 3 種類を対象とします。

- (1) モノクロ TIFF
- (2) グレースケール TIFF
- (3) カラー TIFF

モノクロ TIFF における圧縮方式としては、非圧縮、G3、G4 の 3 方式を対象とします (LZW、PackBits はサポートしません)。

カラー TIFF における色成分に関しては RGB と RGB palette を対象とします。

マルチページ TIFF は TIFF 画像のページ毎に 1 ページとして、FAX 画像に変換します。その他は 1 ファイルにつき 1 ページの FAX 画像に変換します。

スマートキャスト内で変換処理 (回転、拡大/縮小) を行わず、そのままの解像度、ピクセル数で出力する TIFF (以下、無変換 TIFF と呼ぶ) の条件を以下に示します (表 3.3.2.1)。

MH(G3)圧縮のデータ中に RTC 符号が含まれている場合、勧告 T.30 に基づき該当ページの終了と認識し、以降にデータがあっても出力されません。

表 3.3.2.1 無変換で出力される TIFF の条件

スマートキャストでの区分	TIFF 種別	横ピクセル数	解像度
①A4 ノーマル	II 型 MH (G3) 圧縮	1,728pix	204dpi × 98dpi
②A4 ファイン			204dpi × 196dpi
③B4 ノーマル		2,048pix	204dpi × 98dpi
④B4 ファイン			204dpi × 196dpi

但し、縦ピクセル数には上限があります。(表 3.3.2.3 参照)

※上記条件を満たす TIFF のタグ情報は以下になります。

- ・ ImageWidth (タグ番号:256) = 600,800 (H)
- ・ BitsPerSample (タグ番号:258) = 1 (H) [Default:1]
- ・ Compression (タグ番号:259) = 3 (H)
- ・ SamplesPerPixel (タグ番号:277) = 1 (H) [Default:1]
- ・ Xresolution (タグ番号:282) で指定された値 = CC (H)
- ・ Yresolution (タグ番号:283) で指定された値 = C4,62 (H)
- ・ T4Option (タグ番号:292) = 0,4 (H) [Default:0]
- ・ ResolutionUnit (タグ番号:296) = 2 (H) [Default:2]

<解像度>

変換後の FAX 画像の解像度は、

主走査線密度 8.0 画素/mm、副走査線密度 7.7 本/mm (G3 ファイン相当)
又は 3.85 本/mm (G3 ノーマル相当) です。

<用紙サイズ>

変換後の FAX 画像のサイズは、A4 又は B4 判 (表 3.3.2.2) です。

表 3.3.2.2 用紙 (A4/B4) 1 ページの標準サイズ (標準ドット数)

	fine 相当	normal 相当
A4	主走査線方向 : 1,728dots 副走査線方向 : 2,287dots (※)	主走査線方向 : 1,728dots 副走査線方向 : 1,143dots (※)
B4	主走査線方向 : 2,048dots 副走査線方向 : 2,803dots (※)	主走査線方向 : 2,048dots 副走査線方向 : 1,401dots (※)

※ 無変換 TIFF のみ、副走査線方向 (縦方向) は標準ドット数の 0~2.2 倍までを 1 ページとして出力可能。

<出力可能領域>

標準サイズのうち、次に設定した領域を除いた部分を出力可能領域とします。

①表 3.3.2.1 の条件を満たす 4 種類の TIFF 画像の場合

用紙サイズ	余白 (単位 mm)			
	左	右	上	下
A4	0.0	0.0	0.0	0.0
B4	0.0	0.0	0.0	0.0

②表 3.3.2.1 の条件を満たさない TIFF 画像の場合

用紙サイズ	余白 (単位 mm)			
	左	右	上	下
A4	4.0	4.0	5.5	0.0
B4	4.0	4.0	5.5	0.0

<変換処理>

表 3.3.2.1 の条件を満たす 4 種類の TIFF 画像の場合、変換処理は行いません。
ただし、縦ピクセル数によって処理が異なります。(表 3.3.2.3)

表 3.3.2.3 無変換 TIFF ファイルの縦ピクセル数による処理

スマートキャストでの区分	通常頁（通常の 1 ページ）	長尺頁（長い 1 ページ）	受付不可
	・ 標準長の 0～1.1 倍 ・ 通信料は 1 ページ分	・ 標準長の 1.1～2.2 倍 ・ 通信料は 2 ページ分	・ 標準長の 2.2 倍以上
①A4 normal	1pix～1,257pix	1,258pix～2,514pix	2,515pix～
②A4 fine	1pix～2,515pix	2,516pix～5,031pix	5,032pix～
③B4 normal	1pix～1,541pix	1,542pix～3,082pix	3,083pix～
④B4 fine	1pix～3,083pix	3,084pix～6,166pix	6,167pix～

表 3.3.2.1 に示した条件に当てはまらない TIFF ファイルについては、出力可能領域に出力可能な最大サイズとなるようにスマートキャスト内で変換処理（回転、拡大／縮小）を行います。また、主走査線方向はセンタリング処理を行い、副走査線方向は出力可能領域に上詰めで出力し、下余白をカットします。スマートキャストに入力された TIFF ファイルと FAX に出力されるサイズ、解像度の関係を以下に示します。（表 3.3.2.4）

表 3.3.2.4 スマートキャストで変換されて出力される TIFF の条件

入力 TIFF ファイル				FAX 出力	
サイズ ※注 1	長辺解像度 (dpi) ※注 2	縦横の長さ の関係(mm 単位)※注 3	回転 ※注 4	サイズ	解像度
B4 以下	100 以下	縦 ≥ 横	×	A4	ノーマル
		縦 < 横	○		
	101 以上	縦 ≥ 横	×	A4	ファイン
		縦 < 横	○		
B4 以上	100 以下	縦 ≥ 横	×	B4	ノーマル
		縦 < 横	○		
	101 以上	縦 ≥ 横	×		
		縦 < 横	○		

※注1 入力 TIFF ファイルのサイズの判定は解像度およびピクセル数から計算された値(mm 単位)によります。B4 以上の定義は、縦長さ≥365mm または横長さ≥258mm となっております。

※注2 長辺とは、解像度およびピクセル数から計算された縦横の長さが長い方をさします。また、解像度が整数とならない場合は小数点以下を切り捨てて判定します。

※注3 縦横の長さの関係は解像度およびピクセル数から計算された値で判定します。

※注4 ○となっている場合は画像を右に 90° 回転して出力します。×の場合は回転しません。

3.3.3 プリンタ出力ファイル

スマートキャストでは、以下の条件を満たすプリンタ出力形式画像ファイルを FAX 画像へ変換して配送します。

ファイル名の拡張子が PRN、および prn であるファイルを変換の対象とします。Content-Type にはよれません。

※ スマートキャストで変換を保証するプリンタ出力ファイルについては、別途スマートキャストのホームページ上でプリンタ機種を告知します。

http://www.ntt.com/business/services/voice-video/fax/bizfax_sc.html

※ ファイル中にエラーハンドラが定義されている場合（例 プリンタドライバの設定にて“エラーハンドラを送信”に“はい”を設定）、スマートキャスト内での変換にて発生したエラーの内容が宛先に配送されます。

<解像度>

変換後の FAX 画像の解像度は、

主走査線密度 8.0 画素/mm、副走査線密度 7.7 本/mm (G3 ファイン相当)

又は 3.85 本/mm (G3 ノーマル相当) です。

<用紙サイズ>

変換後の FAX 画像のサイズは、A4 又は B4 判 (表 3.3.2.2) です。プリンタ出力形式ファイルの変換条件を以下に示します。

<出力可能領域>

- ・ 用紙の出力領域は以下の余白を除いた領域とします。

用紙サイズ	余白 (単位 mm)			
	左	右	上	下
A4	0.0	0.0	0.0	0.0
B4	0.0	0.0	0.0	0.0

<変換処理>

- ・ 入力 PRN ファイルに指定プリンタ出力サイズと FAX 出力のサイズおよび解像度の関係を以下に示します。なお、A4、B4 以外のサイズの正常出力に関しては保証いたしません。(表 3.3.3.1)

表 3.3.3.1 入力 PRN ファイルと FAX 出力サイズ、解像度との関係

入力 PRN ファイル指定 用紙サイズ	FAX 出力サイズ	FAX 出力解像度
A4	A4	ファイン
B4	B4	ノーマル

<その他注意事項>

FAX への出力イメージは、FAX の解像度への変換などによりお客さまの環境下での印刷イメージ (フォントサイズや罫線など) と異なる場合があります。事前にテスト送信にて出力イメージを確認されることをお勧めします。

3.3.4 JPEG 形式画像ファイル

スマートキャストでは、以下の条件を満たす JPEG 形式画像ファイルを FAX 画像へ変換して配送します。

ファイルの拡張子が JPG、及び jpg であり、JFIF(JPEG File Interchange Format)における以下の条件を満たす JPEG 形式画像を変換対象とします。
(スマートキャストで受付可能な場合は○、受付不可な場合は×)

		スマートキャストでの対応
色成分	グレースケール	○
	RGB カラー	○
	YcbCr カラー	○
	CMYK/CMY カラー	×
符号化モード	DCT 利用型シーケンシャル	○
	DCT 利用型プログレッシブ	○
	可逆 (ロスレス)	×
	ハイアラキカル	×
サンプル精度	8 ビット	○
	12 ビット	×
エントロピー符号化	ハフマン符号化	○
	算術符号化	×

JPEG 形式画像ファイルから FAX 画像への変換条件を以下に示します。

<変換条件>

1 ファイルにつき 1 ページの FAX 画像に変換します。

<解像度>

変換後の FAX 画像の解像度は、
主走査線密度 8.0 画素/mm、副走査線密度 7.7 本/mm (G3 ファイン相当)
です。

<用紙サイズ>

変換後の FAX 画像のサイズは、A4 判です。
(主走査線方向 : 1,728dots、副走査線方向 : 最大 2,287dots)

<出力可能領域>

A4 判の標準サイズ (1,728dots×2,287dots) のうち、以下に設定した領域を除いた部分を出力可能領域とします。

用紙サイズ	余白 (単位 mm)			
	左	右	上	下
A4	4.0	4.0	5.5	10.4

<変換処理>

出力可能領域に入るように、以下の変換処理を行います。

- (1) 横ピクセル数>縦ピクセル数の JPEG ファイルであれば、画像を右回りに 90 度回転します。
- (2) 出力可能領域に出力できる最大のサイズになるまで、縦横等倍の拡大／縮小を行います。
- (3) 主走査線方向のセンタリング処理を行います。
- (4) 副走査線方向は出力可能領域に上詰めで出力し、下余白をカットします。

<その他注意事項>

1 つの JPEG ファイル内の総画素数 (=縦画素数×横画素数) が、
16,843,009
を超える場合、そのファイルは受け付けできません。

3.3.5 Microsoft Word 文書ファイル

スマートキャストでは、以下の条件を満たす Microsoft Word 文書ファイルを FAX 画像へ変換して配送します。

<受付条件>

(a) doc 形式の場合

Windows 用の Word 2019 を利用して作成され、拡張子が doc 又は DOC であるファイルを変換対象とします。他のバージョンを利用して作成されたファイルも受け付けますが、正常出力は保証できません。

以下の機能を利用した文書ファイルに関しては受付不可となります。

- (1) パスワードやアクセス制限により読み取りや印字が制限されている文書
- マクロ機能を利用した文書ファイルについては、マクロ機能を無効にして出力を行います。

(b) docx 形式の場合

Windows 用 Word 2019 を利用して作成され、拡張子が docx 又は DOCX であるファイルを変換対象とします。他のバージョンを利用して作成されたファイルも受け付けますが、正常出力は保証できません。

以下の機能を利用した文書ファイルに関しては受付不可となります。

- (1) マクロ機能を利用した文書ファイル(docm)
- (2) パスワードやアクセス制限により読み取りや印字が制限されている文書

以下は、(a) doc 形式、(b) docx 形式ともに共通

表 3.3.5.1 に示すフォントを利用した文書ファイルに対する正常出力を保証します。(全て TrueType フォント)

表 3.3.5.1 に示すフォントの内、※マークの付いた日本語フォントは JIS2004 (JIS X 0213:2004)で出力されます。

文字を記入した表に網掛けした場合、網掛けの一部が欠ける場合があります。回避策は、「ツール(T)」－「オプション(O)」にて互換性タグのオプション「文書をレイアウトするときにプリンタの設定に従う」を設定(チェック)して下さい。

表 3.3.5.1 Microsoft Word 文書でのフォント一覧表

HG ゴシック E ※	HGP ゴシック E ※	HGS ゴシック E ※	HG ゴシック M
HGP ゴシック M	HGS ゴシック M	HG 明朝 B	HGP 明朝 B
HGS 明朝 B	HG 明朝 E ※	HGP 明朝 E ※	HGS 明朝 E ※
HG 行書体	HGP 行書体	HGS 行書体	HG 教科書体
HGP 教科書体	HGS 教科書体	HG 創英角ゴシック UB ※	HGP 創英角ゴシック UB ※
HGS 創英角ゴシック UB ※	HG 創英角ポップ体 ※	HGP 創英角ポップ体 ※	HGS 創英角ポップ体 ※
HG 創英プレゼンス EB	HGP 創英プレゼンス EB	HGS 創英プレゼンス EB	HG 丸ゴシック M-Pro ※
HG 正楷書体 PRO	メイリオ ※	Meiryo UI ※	MS ゴシック ※
MSP ゴシック ※	MS UI Gothic ※	MS 明朝 ※	MSP 明朝 ※
DFPOP 体	DFPOP 体	DF 特太ゴシック体	DFP 特太ゴシック体
HG ゴシック E-PRO	Arial	Arial Black	Arial Narrow
Book Antiqua	Bookman Old Style	Calibri	Cambria
Candara	Century	Century Gothic	Comic Sans MS
Consolas	Constantia	Courier New	Franklin Gothic Medium
Garamond	Georgia	Impact	Lucida Console
Lucida Sans Unicode	Marlett	Microsoft Sans Serif	Segoe UI
Symbol	Tahoma	Times New Roman	Trebuchet MS
Verdana	Wingdings		

※JIS2004 対応フォント

<変換条件>

変換後の出力イメージは「送受信試験」を行った結果と同等です。
文書ファイルの設定条件および出力イメージの確認方法に関しては、ホームページをご参照下さい。

<解像度>

変換後の FAX 画像の解像度は、
主走査線密度 8.0 画素/mm、副走査線密度 7.7 本/mm (G3 ファイン相当)
又は 3.85 本/mm (G3 ノーマル相当) です。

<用紙サイズ>

変換後の FAX 画像のサイズは、A4 又は B4 判 (表 3.3.2.2) です。

<出力可能領域>

A4 判の標準サイズ (1,728dots×2,287dots) のうち、以下に設定した領域を除いた部分を出力可能領域とします。

用紙サイズ	余白 (単位 mm)			
	左	右	上	下
A4	0.0	0.0	0.0	0.0
B4	0.0	0.0	0.0	0.0

<変換処理>

入力された Word 文書ファイルに指定された出力サイズと FAX 出力のサイズおよび解像度の関係を以下に示します。なお、A4、B4 以外のサイズの正常出力に関しては保証いたしません。(表 3.3.5.2)

表 3.3.5.2 Word 文書ファイルと FAX 出力サイズ、解像度との関係

Word 文書ファイル指定 用紙サイズ	FAX 出力サイズ	FAX 出力解像度
A4	A4	ファイン
B4	B4	ノーマル

<その他注意事項>

FAX への出力イメージは、FAX の解像度への変換などによりお客さまの環境下での印刷イメージ (フォントサイズや罫線など) と異なる場合があります。事前にテスト送信にて出力イメージを確認されることをお勧めします。

3.3.6 Adobe PDF ファイル

スマートキャストでは、以下の条件を満たす Adobe PDF ファイルを FAX 画像へ変換して配送します。

<受付条件>

PDF 形式は Ver1.7 まで対応、また Windows 用 Adobe Reader にて表示および印刷できるファイルを変換対象とします。

※Adobe 社製品以外で作成されたファイル、動的要素やインタラクティブな要素が含まれるファイル、3D コンテンツ付きのファイル、JavaScript 機能を利用したファイル等の正常出力は保証できません。

※Adobe Reader で表示できるファイルであっても、PDF の仕様に従っていない場合には、正常に出力されない場合があります。

以下の機能を利用した文書ファイルに関しては受付不可となります。

(1) 文書を開く際にダイアログが表示される文書

例) パスワードの設定された文書

(2) 印刷制限が設定された文書

(3) セキュリティを伴う機能が含まれる文書

<変換条件>

PDF ファイルの 1 頁を FAX 画像の 1 頁に変換します。

<解像度>

変換後の FAX 画像の解像度は、

主走査線密度 8.0 画素/mm、副走査線密度 7.7 本/mm (G3 ファイン相当)

<用紙サイズ>

変換後の FAX 画像のサイズは、A4 判です。

(主走査線方向：1,728dots、副走査線方向：最大 2,287dots)

<出力可能領域>

A4 判の標準サイズ (1,728dots×2,287dots) のうち、以下に設定した領域を除いた部分を出力可能領域とします。

用紙サイズ	余白 (単位 mm)			
	左	右	上	下
A4	4.625	4.625	4.2	12.5

ただし、入力 PDF ファイルの用紙サイズが横 210mm×縦 280mm を超えるものについては、上記サイズに収まるように全体が縮小されます。

<変換処理>

出力可能領域に入るように、以下の変換処理を行います。

(1) 横ピクセル数>縦ピクセル数の PDF ファイルであれば、画像を左回りに 90 度回転します。※他コンテンツは基本的に右回りですのでコンテンツの組み合わせ時にご注意ください。

(2) 入力 PDF ファイルが出力可能領域に出力できる最大のサイズより大きい場合は、縦横等倍の縮小を行います。

(3) 入力 PDF ファイルが出力可能領域に出力できる最大のサイズより小さい場合は、入力画像サイズのまま中央配置を行います。

<その他注意事項>

一部フォントについては JIS2004 に対応したフォントで出力されます。文字を扱う場合は埋め込みフォントを推奨いたします。

F A X への出力イメージは、F A X の解像度への変換などによりお客様の環境下での印刷イメージ（フォントサイズや罫線など）と異なる場合があります。事前にテスト送信にて出力イメージを確認されることをお勧めします。

埋め込みフォントを利用しない場合、スマートキャストの設定変更により、F A X への出力イメージが変更になる場合があります。

3.4 出力コンテンツ条件

スマートキャストでは、FAX 手順を利用して受信した FAX 画像を TIFF 形式画像ファイルまたは PDF へ変換して電子メールを利用して配送を行います。

3.4.1 TIFF ファイル

ここでは出力 TIFF 形式画像ファイルの条件を示します。(表 3.4.1)

出力コンテンツファイル名の拡張子は TIF または tif となります。バージョンは「TIFF リビジョン 6」です。

表 3.4.1 スマートキャストから出力される TIFF の条件

受信 FAX 画像の区分	TIFF 種別	横ピクセル数	解像度
①A4 ノーマル	II 型 MH (G3) 圧縮	1,728pix	204dpi × 98dpi
②A4 ファイン			204dpi × 196dpi
③B4 ノーマル		2,048pix	204dpi × 98dpi
④B4 ファイン			204dpi × 196dpi

スマートキャストから出力される TIFF のタグ条件

- ・ NewSubfile Type (タグ番号:254) = 2 (H)
- ・ ImageWidth (タグ番号:256) = A4 : 600 (H), B4 : 800 (H)
- ・ ImageLength (タグ番号:257) = FAX 受信ライン数
- ・ BitsPerSample (タグ番号:258) = 1 (H)
- ・ Compression (タグ番号:259) = 3 (H)
- ・ PhotometricInterpretation (タグ番号:262) = 0 (H)
- ・ FillOrder (タグ番号:266) = 2 (H)
- ・ StripOffsets (タグ番号:273) = 該当頁のデータが格納されている位置
- ・ SamplesPerPixel (タグ番号:277) = 1 (H)
- ・ StripByteCounts (タグ番号:279) = 1 ストリップあたりのバイト数
- ・ XResolution (タグ番号:282) で指定された値 = 60 (H)
- ・ YResolution (タグ番号:283) で指定された値
= ファイン : 120 (H), ノーマル : 60 (H)
- ・ T4Options (タグ番号:292) = 0
- ・ ResolutionUnit (タグ番号:296) = 2 (H)
- ・ PageNumber (タグ番号:297) = 頁番号

注 1 スマートキャストから出力される TIFF ファイルはマルチページの TIFF ファイルとなっております。

3.4.2 PDF ファイル

ここでは出力 PDF 形式画像ファイルの条件を示します。(表 3.4.2)

出力コンテンツファイル名の拡張子は pdf となります。

表 3.4.2 スマートキャストから出力される PDF の条件

受信 FAX 画像の区分	バージョン	横ピクセル数	解像度
①A4 ノーマル	PDF1.4	1,728pix 相当	204dpi × 98dpi 相当
②A4 ファイン			204dpi × 196dpi 相当
③B4 ノーマル		2,048pix 相当	204dpi × 98dpi 相当
④B4 ファイン			204dpi × 196dpi 相当

注 1 スマートキャストから出力される PDF ファイルはマルチページの PDF ファイルとなっております。

4 メールフォーマット

4.1 メールフォーマットの概要

TCP/IP 接続にてスマートキャストのサービスを利用する際に送信するメール、およびスマートキャストから受信される通知メールの例を、実際に通信される形式で示します。

4.2 送信メール

4.2.1 電話番号指定同報のメール

電話番号指定同報を利用する場合に送信するメールの例を図 4.2.1 に示します。

To: #213031111111*0451111111@olink.ne.jp	①
From:yama@abc.ntt.com	②
Subject: test mail 1	③
Mime-Version: 1.0	④
Content-Type: multipart/mixed; boundary="===== _885400247==_"	
===== _885400247==_ Content-Type: text/plain; charset="ISO-2022-JP"	⑤
#userid=5001234567	⑥
#passwd=tyama890	⑦
△△の件で資料を送らせていただきます。	⑧
===== _885400247==_ Content-Type: application/octet-stream; name="sample.txt"; Content-Transfer-Encoding: base64	⑨
OM8R4KGxGuEAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAPgADAP7/CQAGAAAAAAAAAAAAAAAAAKAAAA+wQAAAAAAAAAA EAAA6QAAAAEAAAD+////AAAAPEEAADyBAAA8wQAAPQEAAAD1BAAA9gQAAPcEAAD4BAAA+QQAAPoE AAD//////////////////////////////////// :	

図 4.2.1 電話番号指定同報のメール例

[各フィールドの説明]

- ① : 【メールヘッダ】電話番号指定同報の送信手順とドメインを設定します。
- ② : 【メールヘッダ】利用者のメールアドレスを設定します。
- ③ : 【メールヘッダ】メールの題名を記述します。
- ④ : 【メールヘッダ】MIME のバージョンと multipart を示します。
boundary はメーラによって使用する文字列が異なります。
- ⑤ : 【メール本文】MIME の第 1 パート（本文）を示します。
- ⑥ : 【メール本文】お客さま番号を記述します。
- ⑦ : 【メール本文】パスワードを記述します。
- ⑧ : 【メール本文】これ以下の文が宛先の FAX に配送されます。
- ⑨ : 【メール本文】MIME の第 2 パート（添付ファイル）を示します。

4.2.2 宛先リスト同報のメール

宛先リスト同報を利用する場合の送信メールの例を図 4.2.2 に示します。

To: #233*01*02@olink.ne.jp	①
From: yama@abc.ntt.com	②
Subject: test mail 1	③
Mime-Version: 1.0	④
Content-Type: multipart/mixed; boundary="===== _885400247== _"	
===== _885400247== _ Content-Type: text/plain; charset="ISO-2022-JP"	⑤
#userid=5001234567	⑥
#passwd=tyama890	⑦
△△の件で資料を送らせていただきます。	⑧
===== _885400247== _ Content-Type: application/octet-stream; name="sample.txt"; Content-Transfer-Encoding: base64	⑨
OM8R4KGxGuEAAAAAAAAAAAAAAAAAAGADAP7/CQAGAAAAAAAAAAAAAAAAAKAAAA+wQAAAAAAAAAA EAAAGQQAAAEAAAD+////AAAAPEEAADyBAAA8wQAAPQEAAAD1BAAA9gQAAPcEAAD4BAAA+QQAAPoE AAD//////////////////////////////////// :	

図 4.2.2 宛先リスト同報のメール例

[各フィールドの説明]

- ① : 【メールヘッダ】宛先リスト同報の送信手順とスマートキャストのドメインを設定します。
- ② : 【メールヘッダ】利用者のメールアドレスを設定します。
- ③ : 【メールヘッダ】メールの題名を記述します。
- ④ : 【メールヘッダ】MIME のバージョンと multipart を示します。Boundary はメーラによって使用する文字列が異なります。
- ⑤ : 【メール本文】MIME の第 1 パート（本文）を示します。
- ⑥ : 【メール本文】お客さま番号を記述します。
- ⑦ : 【メール本文】パスワードを記述します。
- ⑧ : 【メール本文】これ以下の文が宛先の FAX に配送されます。
- ⑨ : 【メール本文】MIME の第 2 パート（添付ファイル）を示します。

4.2.3 宛先ファイル同報のメール

宛先ファイル同報を利用する場合の送信メールの例を図 4.2.3 に示します。

To: address-j@olink.ne.jp
From:yama@abc.ntt.com
Subject: test mail 1
Mime-Version: 1.0
Content-Type: multipart/mixed; boundary="===== _885400247==_"

===== _885400247==_
Content-Type: text/plain; charset="ISO-2022-JP"

#userid=5001234567
#passwd=tyama890

△△の件で資料を送らせていただきます。

===== _885400247==_
Content-Type: application/octet-stream; name="_address.txt"
Content-Transfer-Encoding: base64

NzUuMDEuMDE6DQoiMDMzMzMzMzMzMjYsIoGbgZuBm4GbJpaLxpWUiWOLxpWUGUCXbCINCiIwNjY2
NjYNjYiILCKBfoF+gX6BfoF+gX6JY4vGjniTWIFA12wiDQoiMDMONTY3ODkwMSIsIiINCiIwMzQo
NDQONDQOIiwigaKBooGigaKOlovGI ZSJY4vGlZSBQJdsIgOKI jA2MTExMTExMTEiLCKBnIGcgZyB
nIGcgZyJY4vGjniTWIFA12wiDQoiMDMxMjMONTY3OCIsIiINCg==
:

===== _885400247==_
Content-Type: application/octet-stream; name="sample.txt";
Content-Transfer-Encoding: base64

OM8R4KGxGuEAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAPgADAP7/CQAGAAAAAAAAAAAAAAAAAKAAA+wQAAAAAAAAAA
AAAA6QAAAAEAAD+////AAAAPEEAADyBAAA8wQAAPQEAAD1BAAA9gQAAPcEAAD4BAAA+QAAPPoE
AAD//
:

図 4.2.3 宛先ファイル同報のメール例

[各フィールドの説明]

- ① : 【メールヘッダ】宛先ファイル同報の送信手順とスマートキャストのドメインを設定します。
- ② : 【メールヘッダ】利用者のメールアドレスを設定します。
- ③ : 【メールヘッダ】メールの題名を記述します。
- ④ : 【メールヘッダ】MIME のバージョンと multipart を示します。Boundary はメーラによって使用する文字列が異なります。
- ⑤ : 【メール本文】MIME の第 1 パート (本文) を示します。
- ⑥ : 【メール本文】お客さま番号を記述します。
- ⑦ : 【メール本文】パスワードを記述します。
- ⑧ : 【メール本文】これ以下の文が宛先の FAX に配送されます。
- ⑨ : 【メール本文】MIME の第 2 パート (宛先ファイル: _address.txt) を示します。
- ⑩ : 【メール本文】MIME の第 3 パート (添付ファイル) を示します。

4.2.4 宛先ファイルの作成方法

宛先ファイル同報サービスの利用時に、同報宛先を記載して添付する宛先ファイルの作成方法を説明します。宛先ファイルにおける宛先情報の記述形式および作成例を図 4.2.4 に示します。

- ・ ファイルは、SHIFT-JIS のテキスト形式とします。
- ・ ファイル名は、「_address.txt」または「_addressXX.txt」とします。XX は 0～99 の数字のみ使用可能です。00～09 と表記することも可能です。
- ・ 1 行目に宛先ファイル同報を示す識別子「#LIST*:」又は「#LIST:」を左詰め・半角で記述します。「#LIST*:」は漢字宛名を利用する場合で「#LIST:」は漢字宛名を利用しない場合です。

・ 表 4.2.4 宛先ファイル同報のファイル識別子一覧

	漢字宛名の有無	1 行あたりの の列数	識別子
宛先ファイル	有	2	#LIST*: 又は 75.01.01:
	無	1	#LIST:

- ・ ファイル識別子は省略可能です。ファイル識別子を省略した場合、1 行目が 2 カラムであれば漢字宛名ありのファイルフォーマット、1 行目が 1 カラムであれば漢字宛名なしのファイルフォーマットとして扱います。
- ・ ダブルクォーテーション「"」及びカンマ「,」は半角で記述します。
- ・ また、タブルクォーテーション「"」は省略可能です。
- ・ 2 行目以降は 1 行につき 1 宛先を記述します。
- ・ 1 ファイルに記述できる宛先数は、最大 3,000 件までとします。
- ・ 国内宛先電話番号は市外局番から 10 桁の半角数字で記述します。
- ・ 海外宛先電話番号は【010+宛先国番号+宛先国内番号】形式で半角数字 18 桁以内で記述します（010 を含め半角 18 桁以内）。
- ・ 漢字宛名は全角 32（半角 64）文字以内で記述します。但し“□”（JIS : 2222、S-JIS : 81A0）は右寄せコードとし、“□”以前の文字を左寄せ、“□”以降の文字を右寄せして漢字宛名として表示します。また、漢字宛名にカンマ「,」は記述できません。
- ・ 漢字宛名に使用できる文字については、「3.3.1 テキスト文書ファイル」の「文字コード （2）Shift JIS コード」に準じます
- ・ 空行は無視します。その他の条件は「3.3.1 テキスト文書ファイル」に準じます。

① 漢字宛名を利用する場合の記述法および記述例

```
#LIST*:CRLF  
"電話番号", "漢字宛名"CRLF  
"電話番号", ""CRLF  
.....
```

```
#LIST*:CRLF  
"0333333333", "〇〇事業部営業部 様"CRLF  
"010123456789012", ""CRLF  
.....
```

② 漢字宛名を利用しない場合の記述法および記述例

```
#LIST:CRLF  
"電話番号"CRLF  
"電話番号"CRLF  
.....
```

```
#LIST:CRLF  
"0333333333"CRLF  
"010123456789012"CRLF  
.....
```

図 4. 2. 4 宛先ファイル「_address.txt」の記述法、及び記述例

オーバーレイ同報を利用する場合の送信メールの例を図 4.2.5 に示します。

図 4.2.5 オーバーレイ同報のメール例

- ①: 【メールヘッダ】 オーバーレイ同報の送信手順とスマートキャストのドメインを設定します。
- ②: 【メールヘッダ】 利用者のメールアドレスを設定します。
- ③: 【メールヘッダ】 メールの題名を記述します。
- ④: 【メールヘッダ】 MIME のバージョンと multipart を示します。Boundary はメールによって使用する文字列が異なります。
- ⑤: 【メール本文】 MIME の第 1 パート (本文) を示します。
- ⑥: 【メール本文】 お客さま番号を記述します。
- ⑦: 【メール本文】 パスワードを記述します。
- ⑧: 【メール本文】 メール本文があればそれを TIFF 変換した原稿に差込情報が入り、各宛先の FAX に配送されます。
- ⑨: 【メール本文】 MIME の第 2 パート (宛先ファイル: _address.txt) を示します。
- ⑩: 【メール本文】 MIME の第 3 パート (添付ファイル) を示します。

4.2.6 オーバーレイ用宛先ファイルの作成方法

オーバーレイ同報の利用時に、宛先と差込情報を記載して添付するオーバーレイ用宛先ファイルの作成方法を説明します。オーバーレイ用宛先ファイルにおける宛先情報の記述形式および作成例を図 4.2.6 に示します。

- ・ 差し込みは、先頭頁にのみ行います。複数頁の送信は可能です。
- ・ 先頭頁は、A4 サイズのみ許容します。先頭頁 B4 サイズは、受付を拒否します。
- ・ 差し込み文字は、先頭頁の縦方向に対して、文字は横書きで表示します。
- ・ 差し込み対象となる添付ファイルについては、ファイル種別は通常呼と同じです。メール本文がある場合は、本文をイメージ (TIFF) 化した原稿に差し込みを行います。
- ・ オーバーレイ用宛先ファイルに記述された宛先は、重複排除しません。
- ・ オーバーレイ用宛先ファイルは、SHIFT-JIS で記述したテキストファイル「_address.txt」とします。また「_addressXX.txt」も使用可能です。ただし XX は 0~99 の数字のみ使用可能です。00~09 と表記することも可能です。
- ・ 1 行目にオーバーレイ同報を示す識別子「#OVERLAY:」は左詰め・半角で記述します。
- ・ 1 つの差し込み文字列は、64 文字 (128byte) 以内とします。
- ・ 差し込みデータ数は 1 個~最大 100 個までとし、全宛先とも同じ数とします。
- ・ 差し込みを行わない宛先は、差し込み文字列に NULL を指定します。
- ・ ダブルクォーテーション省略は可。同じ行でのダブルクォーテーション有無の混在は許容しません。
- ・ 右寄せコード“□” (SHIFT-JIS : 81A0) は、指定できません。
- ・ その他の条件は、宛先ファイルに準拠します。

<制御情報ファイルフォーマット>

- ・ 制御情報として、位置・サイズ・フォントを指定可能とします。
(制御情報は 64byte 以下とする)

「開始位置」 : 水平位置 (横) と垂直位置 (縦) をピクセル単位で指定。

例) 200×100 (横 × 縦)

「サイズ」 : 全角文字の横と縦のサイズをピクセルで指定。

例) 30×20 (横 × 縦)

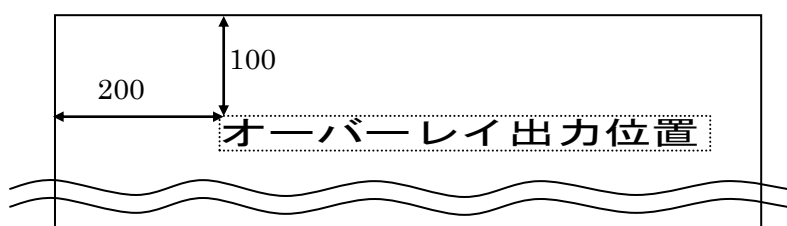
半角文字は横サイズを 1/2 で表現する。奇数の文字サイズ (横) が指定された場合、2 で割った端数は切捨てとする。
用紙に入らない場合は不達となる。

指定可能なサイズは、縦が 1~999 (整数)、横が 2~999 (整数)。上位桁 0 を記述可とする。

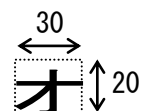
「フォント」 : M (明朝体)、G (ゴシック体) をサポートする。

M, G の記述方法は半角大文字のみとする。

例) 開始位置指定



例) サイズ



- ・ オーバーレイ宛先ファイルの記述法および記述例

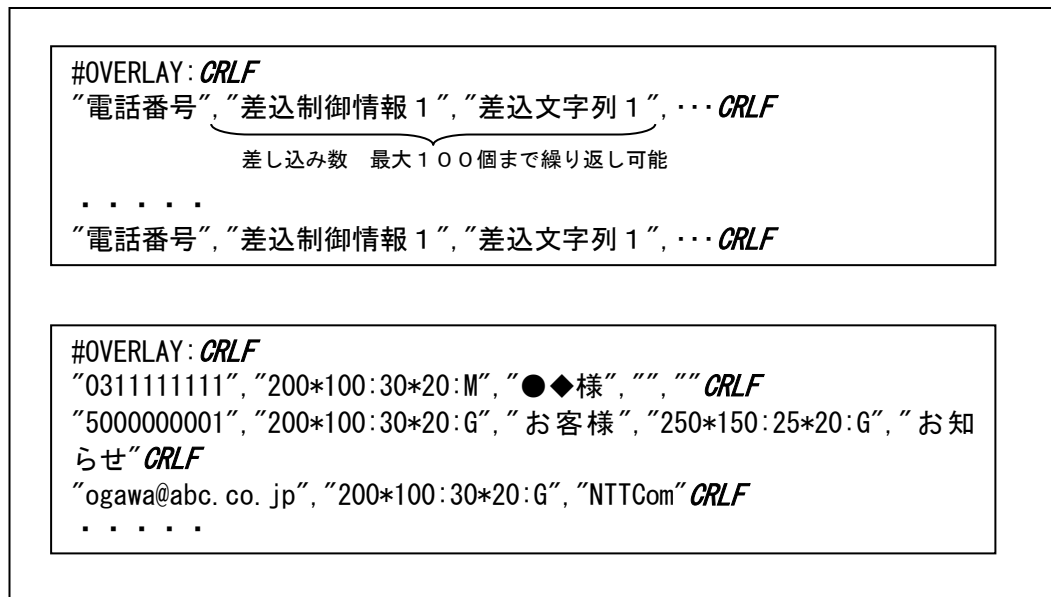


図 4.2.6 オーバレイファイル「_address.txt」の記述法および記述例

4.2.7 ファクシミリ案内の取出し要求メール（情報取出し者用）

ファクシミリ案内の取出しを利用する場合の送信メールの例を図 4.2.7 に示します。

To: #284031111111*1@olink.ne.jp	①
From:yama@abc.ntt.com	②
Subject: test mail 1	③
Content-Type: text/plain; charset="ISO-2022-JP"	
#userid=5001234567	④
#passwd=tyama890	⑤

図 4.2.7 ファクシミリ案内の取出し要求メール例

[各フィールドの説明]

- ① : 【メールヘッダ】 ファクシミリ案内の取出し要求の送信手順とドメインを設定します。
- ② : 【メールヘッダ】 利用者のメールアドレスを設定します。
- ③ : 【メールヘッダ】 メールの題名を記述します。
- ④ : 【メール本文】 お客さま番号を記述します。
- ⑤ : 【メール本文】 パスワードを記述します。

4.3 通知メール

サービス利用時にスマートキャストが送信する通知メールについて説明します。通知メールには、「受付通知メール」「受付不可通知メール」「配送結果通知メール」の3種類があります。

4.3.1 受付通知メール

各サービスの受付時に送信する受付通知メールの例を図4.3.1に示します。

To: yama@abc.ntt.com	①
From: #29012345@olink.ne.jp	②
Subject: Acceptance:test mail 1	③
***** NTTコミュニケーションズからのお知らせ ***** InternetFAX (iFAX) をご利用頂き、ありがとうございます。 次の通信を受け付けましたので、お知らせします。	④
	⑤
【発信日時】 : 1998年 6月26日 8時14分	⑥
【時刻指定日時】 : 1998年 6月26日12時	⑦
【発信者ID】 : 5001234567	⑧
【添付ファイル】 : SAMPLE.TXT 他、合計 3ファイル	⑨
【受付番号】 : 12345	⑩
時刻指定の配送を取り消す場合は、本メールをそのまま返信して下さい。 (引用符、不要行を削除する必要はありません。) ※時刻指定の取消は、1998年 6月26日11時00分まで受付可能です。	⑪
----- [受付メールの本文を引用します] -----	⑫
>	⑬
>△△の件で資料を送らせていただきます。	
>...	

図 4.3.1 受付通知メールの例

[各フィールドの説明]

- ① : 【メールヘッダ】 通知メールの送信先です。
サービス利用時に From: に設定したアドレスを設定します。
- ② : 【メールヘッダ】 通常はスマートキャスト管理アドレス (admin@olink.ne.jp) となります。なお、時刻指定配送の場合は、時刻指定配送取消のコマンドを設定します (本例)。
- ③ : 【メールヘッダ】 サービス利用時の Subject: に固定メッセージを付加したものを設定します。
- ④ : 【メール本文】 スマートキャストの通知メールを示します。
- ⑤ : 【メール本文】 受付通知メールであることを示します。
- ⑥ : 【メール本文】 発信日時を示します。再送信、時刻指定の取消の場合も原発信時刻が記載されます。
- ⑦ : 【メール本文】 時刻指定配送の場合のみ、時刻指定日時を示します。
- ⑧ : 【メール本文】 発信者のお客さま番号を示します。
- ⑨ : 【メール本文】 添付ファイルの情報を示します。
- ⑩ : 【メール本文】 受付番号を示します。
- ⑪ : 【メール本文】 時刻指定配送の場合のみ、時刻指定配送取消のガイダンスを表示します。
- ⑫ : 【メール本文】 受付メールの引用を付加することを示します。
- ⑬ : 【メール本文】 受付メールを引用符付きで表示します。

4.3.2 受付不可通知メール

スマートキャストがサービスを受付不可としたときに送信する受付不可通知メールの例を示します。

通常の受付不可通知メールの例を図 4.3.2.1、時刻指定配送の受付不可通知メールの例を図 4.3.2.2 に示します。

To: yama@abc.ntt.com	①
From: admin@olink.ne.jp	②
Subject: Reject:test mail 1	③
***** NTTコミュニケーションズからのお知らせ ***** InternetFAX (iFAX) をご利用頂き、ありがとうございます。 次の通信は、受付できませんでしたのでお知らせします。	④
	⑤
【発信日時】 : 1998年 6月26日 9時10分	⑥
【発信者ID】 : 5001234567	⑦
【添付ファイル】 : SAMPLE.TXT 他、合計 3ファイル	⑧
すべての宛先を受付できませんでした。 【受付不可理由】 : *12 発信方法に誤りがあります。	⑨
----- [受付メールの本文を引用します] ----- > >△△の件で資料を送らせていただきます。 > . . .	⑩

図 4.3.2.1 受付不可通知メールの例

[各フィールドの説明]

- ① : 【メールヘッダ】 通知メールの送信先です。
サービス利用時に From: に設定したアドレスを設定します。
- ② : 【メールヘッダ】 スマートキャストの管理アドレスが設定されます。
- ③ : 【メールヘッダ】 サービス利用時の Subject: に固定メッセージを付加したものを設定します。
- ④ : 【メール本文】 スマートキャストの通知メールを示します。
- ⑤ : 【メール本文】 受付不可通知メールであることを示します。
- ⑥ : 【メール本文】 発信日時を示します。
再送信、時刻指定の取消の場合も発信時刻が記載されます。
- ⑦ : 【メール本文】 発信者のお客さま番号を示します。
- ⑧ : 【メール本文】 可能であれば添付ファイルの情報を示します。
- ⑨ : 【メール本文】 受付不可の理由を示します。
- ⑩ : 【メール本文】 可能であれば受付メールの本文を引用符付きで表示します。

To: yama@abc.ntt.com	①
From: admin@olink.ne.jp	②
Subject: Reject:test mail 1	③
***** NTTコミュニケーションズからのお知らせ ***** InternetFAX (iFAX) をご利用頂き、ありがとうございます。 次の通信は、受付できませんでしたのでお知らせします。	④
	⑤
【発信日時】 : 1998年 6月26日 9時10分	⑥
【時刻指定日時】 : 1998年 6月26日20時	⑦
【発信者ID】 : 5001234567	⑧
【添付ファイル】 : SAMPLE.TXT 他、合計 3ファイル	⑨
すべての宛先を受付できませんでした。	
【受付不可理由】 : *04 指定の時刻は混み合っています。別の時刻をご指定下さい。	⑩
なお、ご指定の時刻の前後3時間のうち、以下の時刻が指定可能です。 (1998年 6月26日 9時12分現在)	⑪
1998年 6月26日17時、18時、21時、22時	⑫
----- [受付メールの本文を引用します] ----- > >△△の件で資料を送らせていただきます。 >...	⑬

図 4.3.2.2 受付不可通知メールの例（時刻指定配送の場合の例）

[各フィールドの説明]

- ① : 【メールヘッダ】 通知メールの送信先です。
サービス利用時に From: に設定したアドレスを設定します。
- ② : 【メールヘッダ】 スマートキャストの管理アドレスが設定されます。
- ③ : 【メールヘッダ】 サービス利用時の Subject: に固定メッセージを付加したものを設定します。
- ④ : 【メール本文】 スマートキャストの通知メールを示します。
- ⑤ : 【メール本文】 受付不可通知メールであることを示します。
- ⑥ : 【メール本文】 発信日時を示します。
再送信、時刻指定の取消の場合も発信時刻が記載されます。
- ⑦ : 【メール本文】 時刻指定配送の時刻指定日時を示します。
- ⑧ : 【メール本文】 発信者のお客さま番号を示します。
- ⑨ : 【メール本文】 可能であれば添付ファイルの情報を示します。
- ⑩ : 【メール本文】 受付不可の理由を示します。
- ⑪ : 【メール本文】 指定時刻が混み合っていて、指定時刻の前後 3 時間内に受付可能な時刻がある場合に記載されます。
- ⑫ : 【メール本文】 指定時刻の前後 3 時間内にある指定可能時刻を示します。
- ⑬ : 【メール本文】 可能であれば受信メールの本文を引用符付きで表示します。

受付不可通知メールに表示される受付不可理由の一覧を表 4.3.2 に示します。

なお、受付不可理由には、各通信サービス固有の理由のものもあるため、各サービス毎に分類します。

表 4.3.2 受付不可理由一覧

種別	番号	受付不可メッセージ	発生要因
ネットワーク内エラー	*01	通信中にエラーが発生しました。	ネットワーク内の異常（論理矛盾）によりお客さまの通信を正しく受け付けることができなかった。 お客さまの添付されたファイルをファクシミリイメージに変換した際に異常が発生した。
	*02	大変混み合ってます。もう暫くお待ち下さい。	ネットワーク内の異常（ふくそう）によりお客さまの通信を正しく受け付けることができなかった。
	*03	ネットワークが故障中です。もう暫くお待ち下さい。	ネットワーク内の異常（装置故障）によりお客さまの通信を正しく受け付けることができなかった。
	*04	指定の時刻は混み合っています。別の時刻をご指定下さい。	時刻指定送信要求時、ご指定の時刻は既に要求を大量に受付済みのため、その時間を指定した新たな要求を受け付けられない（ご指定の時刻での配送を保証できないため）。
	*05	メンテナンス中のため、只今ご利用できません。	宛先リスト登録などのカスタマデータ登録要求において、ネットワーク側でメンテナンス時間中のため、登録処理を実施できなかった。
サービスに全般的にわたるエラー	*11	暗証番号が違います。	メール本文の#PASSWD 行に記載されたパスワードが誤っている。
	*12	発信方法に誤りがあります。	MAIL の TO フィールドに記載された、発信手順が誤っている。
	*15	配送すべき原稿がありません。	メール本文も添付ファイルもないため、相手先に配送すべき原稿が存在しない。
	*17	配送可能なページ数を超えています。	メール本文と添付ファイルについて、配送する画情報に変換したところ、受け付け可能な頁数の上限を超えている。 メールに添付したファイル数が多すぎる。
	*19	設定または契約内容が誤っています。	ファクシミリ通信網契約をされていない回線または端末からサービスをご利用しようとしたため受け付けられない。
	*36	受付できないファイルが添付されています。	メールの添付ファイルが、サービス許容外のファイルである。
	*37	受付できない用紙サイズです。	送信された添付ファイルを FAX イメージに変換したところ、FAX 1 枚当たりの紙の長さが制限長を超えているため、受け付けられなかった。
	*38	ファイルサイズが大きいため、数回に分けて送信下さい。	メール本文と添付ファイルについて、配送する画情報に変換したところ、画情報量が規定値を超えたため受け付けられない。
	*39	分割メールを受信できませんでした。	お客様がメールを分割されて発信したが、その分割メールがすべて届かなかったため、メールを復元できなかった。
	*40	メールサイズが大きいため受信できませんでした。	お客様が送信されたメールのサイズが非常に大きいため、メールを受信できなかった。

	*41	指定された受付番号は登録されていません。	時刻指定送信の取消を行おうとしたところ、 ・受付番号を誤って指定 ・既に配送中になっている通信に対しての要求 ・すでに時刻指定送信の取消を受付済みの通信に対して再度取消を要求であったため、受け付けられない。 再送信要求を行おうとしたところ、 ・受付番号を誤って指定 ・再送信受付可能時間を超過した時刻に要求 ・もともとの通信がまだ配送完了していない であったため、受け付けられない。
	*42	取消可能時刻を過ぎています。	時刻指定送信要求にて指定された通信について、指定時刻の1時間前以内に時刻指定送信の取消を行おうとした。
	*45	指定された受付番号の通信文は現在配送中です。	既に再送信要求を受付済みの通信に対して、再度同じ受付番号を用いて、再送信要求を行った。
	*51	指定された送信時刻ではお預かりできません。	時刻指定送信要求で指定された時刻が ・現在時刻より過去 ・現在時刻より1時間以内 ・現在時刻より97時間以上先 であったため受付られない。
宛先ファイル同報サービス関連のエラー	*14	漢字宛名に誤りがあります。	添付された宛先ファイル内に記述されている「漢字宛名」が64byteより長すぎる。
	*18	配送可能宛先数を超えています。	宛先ファイルに記載した宛先の数が多すぎる。
	*24	使用できない文字が含まれています。	添付された宛先ファイル内に記述されている「漢字宛名」について、許容対象外の文字が使用されている。
	*27	宛先ファイルが添付されていません。	メールに宛先ファイルが添付されていないため、宛先が指定されていない。
	*28	宛先ファイルが複数添付されています。	メールに複数の宛先ファイルが添付されている。
	*29	宛先ファイルの形式に誤りがあります。	添付された宛先ファイルの書式/フォーマットに誤りがある。
宛先リスト同報サービス関連のエラー	*13	宛先リスト番号に誤りがあります。	手順にて指定した宛先リスト番号が正しくない(数字でない/桁数が正しくない)。
	*16	配送すべき宛先がありません。	手順で指定された宛先リストに登録されている宛先が一つもないため配送先がない。
	*31	宛先指定に誤りがあります。	登録データ内で指定された相手先の電話番号が誤っている。
	*61	宛先リストのご利用には契約が必要です。	グループ指定通信機能を契約していないお客様が、宛先リスト同報を利用しようとした。
宛先リスト登録関連のエラー	*13	宛先リスト番号に誤りがあります。	指定した宛先リスト番号が正しくない(数字でない/桁数が正しくない)。
	*14	漢字宛名に誤りがあります。	宛先リスト登録用ファイル内に記述されている「漢字宛名」が64byteより長すぎる。
	*24	使用できない文字が含まれています。	添付された宛先リスト登録用ファイル内に記述されている「漢字宛名」について、許容対象外の文字が使用されている。
	*61	宛先リストのご利用には契約が必要です。	グループ指定通信機能を契約していないお客様が、宛先リスト登録を利用しようとした。
	*64	登録情報が契約数を超えています。	宛先リストを登録しようとした際、既に登録済みのすべての宛先リスト内の宛先の総数が上限値を超えたため、登録が受付られない。

	*66	1 リストの登録可能数を超えています。	一つの宛先リストに、宛先を 1001 件以上登録しようとした。
	*71	宛先リストファイルが添付されていません。	メールに宛先リスト登録用ファイルが添付されていない。
	*72	宛先リストファイルが複数添付されています。	メールに複数の宛先リスト登録用ファイルが添付されている。
	*73	宛先リストファイルの形式に誤りがあります。	添付された宛先リスト登録用ファイルの書式/フォーマットに誤りがある。
着信課金サービス関連のエラー	*11	暗証番号が違います。	着信課金テーブル登録手順において、フックンク暗証番号が誤っている。
	*52	着信課金サービスのご利用には契約が必要です。	着信課金テーブル照合形サービスを契約していないお客様が、着信課金テーブルデータの操作を行おうとした。
	*75	登録しようとしている内容に誤りがあります。	着信課金テーブルの登録時、登録手順上のテーブル番号または登録する値が誤っている。
ファクシミリ案内サービス（IP 側）関連のエラー	*11	暗証番号が違います。	IP 課金テーブル登録手順において、フックンク暗証番号が誤っている。
	*53	IP 課金サービスのご利用には契約が必要です。	ファクシミリ案内 IP 課金テーブル照合形サービスを契約していないお客様が、IP 課金テーブルデータの操作を行おうとした。
	*64	登録情報が契約数を超えています。	ファクシミリ案内情報提供者が、ファクシミリ案内契約頁数を超えた頁を登録しようとしたため受け付けられない。
	*75	登録しようとしている内容に誤りがあります。	IP 課金テーブルの登録時、登録手順上のテーブル番号または登録する値が誤っている。
	*81	ファクシミリ案内のご利用には契約が必要です。	ファクシミリ案内情報提供者の契約していないお客様が、ファクシミリ案内情報の操作を行おうとした。
	*82	1 つの案内番号に登録できる制限数を超えています。	ファクシミリ案内の一つの案内情報 (BOX) に 32 頁以上登録しようとした。
	*83	指定された登録範囲は、送信されたページ数に一致しません。	ファクシミリ案内情報提供者がある案内情報 (BOX) に対して、1 頁のみ更新を行おうとした際、登録しようとした画が複数頁であったため登録 NG となった。
	*86	指定された範囲に登録情報はありません。	ファクシミリ案内情報提供者が、未登録の BOX に対して、開始/停止/利用状況確認/登録内容確認を行った。
	*90	BOX 内の情報が連続しておりません。	ある BOX にファクシミリ案内画を登録しようとした際に、連続しない頁番号を指定して登録しようとした。
ファクシミリ案内サービス（取出側）関連のエラー	*31	宛先指定に誤りがあります。	発信手順にてご指定された番号の方は、ファクシミリ案内情報提供者ではない。
	*54	指定された番号は IP 課金サービスをおこなっておりません。	ファクシミリ案内情報提供者側が IP 課金契約をしていないため、IP 課金でのファクシミリ案内取り出しは利用不可。
	*55	指定された番号の IP 課金サービスはご利用になれません。	ファクシミリ案内情報提供者側の IP 課金テーブル情報に、発信者側の情報が登録されていないため、IP 課金でのファクシミリ案内取り出しは利用不可。
	*80	サイズが大きいため、部分ページに分けてお取り出し下さい。	指定した BOX 番号の登録内容の画情報量が大きいため取り出しができなかった。
	*84	指定された番号の案内情報は、只今提供されておられません。	取り出しをしようとしたところ、指定した BOX が情報提供者側の操作により非公開となっているため、取り出しができなかった。
	*86	指定された範囲に登録情報はありません。	ファクシミリ案内情報の取り出しをしようとしたところ、指定した BOX が情報提供者側で未提供の情報であった。

	*87	案内情報に異常のあるおそれがあります。	ファクシミリ案内情報の取り出しを途中頁指定で行ったところ、指定した頁以降の画が情報提供者側で未提供の情報であった。 ファクシミリ案内取り出しを網内で処理しようとした際に、該当の画情報の変換処理で異常となり、取り出しがNGとなった
	*89	指定された登録情報は取り出しできません。	メールユーザが提供しているファクシミリ案内情報を、メールユーザが取り出そうとした。
	*20	指定された番号からの発信はできません。	該当 BOX の登録情報が壊れているため、取り出しができなかった スマートキャスト-アナログ PBX 契約者が、PBX 局線番号からスマートキャストをご利用しようとした。
その他特殊サービスに関するエラー	*22	差し込みデータに誤りがあります。	オーバーレイ同報用宛先ファイル内の制御情報が正しくない。
	*23	片閉域サービスをご利用中のため、本手順で発信できません。	スマートキャスト-閉域サービス契約者が、宛先リスト同報以外の同報サービスを利用しようとした。
	*24	使用できない文字が含まれています。	オーバーレイサービス用ファイル内の差し込み文字情報に、許容外の文字が使用されている。
	*37	受付できない用紙サイズです。	オーバーレイ同報する雛形の画情報が A4 サイズではないため受け付けられない。
	*41	指定された受付番号は登録されていません。	折返着信課金呼を発信したところ、 ・折返し ID を誤って指定 ・折返し ID が既に無効（6 時間超過） ・折返しで指定した宛先が正しくない ・折返呼を発信する端末が誤っている であったため、受け付けられない。
	*45	指定された受付番号の通信文は現在配送中です。	既に折返し着信課金呼を発信済みであるにもかかわらず、再度同じ折返し ID を用いて、折返し着信課金呼を発信した。

4.3.3 配送結果通知メール

同報送信の配送結果確定時にスマートキャストが送信する配送結果通知メールの例を図 4.3.3 に示します。

To: yama@abc.ntt.com	①
From: #21112345@olink.ne.jp	②
Subject: Result(NG):test mail 1	③
***** NTTコミュニケーションズからのお知らせ *****	④
InternetFAX (iFAX) をご利用頂き、ありがとうございます。	⑤
次の通信の配送結果をお知らせします。	⑥
【発信日時】 : 1998年 6月26日 9時10分	⑦
【時刻指定日時】 : 1998年 6月26日12時	⑧
【配送完了日時】 : 1998年 6月26日12時15分	⑨
【発信者ID】 : 5001234567	⑩
【添付ファイル】 : SAMPLE.TXT 他、合計 3ファイル	⑪
【ページ数】 : 4	⑫
【受付番号】 : 12345	⑬
【総宛先数】 : 2 【送達数】 : 1 【不達数】 : 1	⑭
宛先 結果(理由) 不達頁 登録情報	⑮
0345678901 NG (*20) 01 株式会社●●● ■■殿	⑯
0333333333 OK -- ○○○○○株式会社 △△殿	⑰
【結果の見方】 : NG(*20) 相手先が応答しませんでした。	⑱
OK 正常に配送できました。	⑲
配送できなかった宛先に再送信する場合は、本メールをそのまま返信して下さい。	⑳
(引用符、不要行を削除する必要はありません。)	㉑
※ 再送信は、1998年 6月26日 16時00分まで受付可能です。	㉒
----- [受付メールの本文を引用します] -----	㉓
>前略	㉔
>△△の件で資料を送らせていただきます。	㉕

図 4.3.3 配送結果通知メールの例

[各フィールドの説明]

- ① : 【メールヘッダ】 通知メールの送信先です。
サービス利用時に From: に設定したアドレスを設定します。
- ② : 【メールヘッダ】 不達の宛先がある場合、再送信のコマンドを設定します。
- ③ : 【メールヘッダ】 サービス利用時の Subject: に固定メッセージを付加したものを設定します。
- ④ : 【メール本文】 スマートキャストの通知メールを示します。
- ⑤ : 【メール本文】 配送結果通知メールであることを示します。
- ⑥ : 【メール本文】 発信日時を示します。
再送信の場合には原発信時刻が記載されます。
- ⑦ : 【メール本文】 時刻指定配送の場合のみ、時刻指定日時を示します。
- ⑧ : 【メール本文】 配送完了日時（全配送結果が確定した時間）を示します。
- ⑨ : 【メール本文】 お客さま番号を示します。
- ⑩ : 【メール本文】 添付ファイルの情報を示します。

- ⑪ : 【メール本文】 ページ数を示します。
 ⑫ : 【メール本文】 受付番号を示します。
 ⑬ : 【メール本文】 総宛先数、送達数、不達数を示します。
 ⑭ : 【メール本文】 配送結果について、宛先、結果、不達頁、登録情報、ガイダンスを表示します。NG、OKの順に表示します。
 ⑮ : 【メール本文】 配送結果(不達の理由表示)の見方を記述します(表4.3.3参照)。
 ⑯ : 【メール本文】 再送信可能な場合のみ、再送信のガイダンスを表示します。
 ⑰ : 【メール本文】 受付メールの引用を付加することを示します。
 ⑱ : 【メール本文】 受付メールの本文を引用符付きで表示します。

配送結果通知メールに表示される、配送結果 NG メッセージの一覧を表 4.3.3 に示します。

表 4.3.3 配送結果 NG メッセージ一覧

種別	番号	表示メッセージ	発生要因
ネットワーク内エラー	*02	通信中にエラーが発生しました。	相手端末からの切断 何らかの理由で相手の端末から通信が切断された場合(理由が特定できないもの)
			その他の通信中エラー(端末適合性チェックエラー等) 宛先の回線までは接続できたが、FAX 端末が通信できない機種と判断された。
			相手端末からの不完全受信通知(回線の一時的な故障等) 宛先の回線接続後、回線故障等により相手端末が受信できない状態になった。
			通信回線に関わる一時的な故障。
			ネットワーク内でのシステム内部異常(画品質異常、送信装置の一時的な故障等)。
上記以外のエラー	*04	この宛先への通信は混み合っています。暫くお待ち下さい。	同一端末へのスマートキャスト配送が集中しているため、規定時間内に配送ができない。
	*10	相手方の端末は使用中でした。	着 FAX 端末が使用中のため接続できない。
	*11	通信が混み合っています。	NTT 電話網が混み合っているため相手端末に接続できない。 －相手端末がふくそうしている －相手端末を収容する交換機がふくそうしている。
	*20	相手先が応答しませんでした。	スマートキャスト網から相手端末への呼出に対して、接続できなかった場合に発生。 原因としては、相手端末の電源が入っていなかったり、用紙なし、TA の設定誤りなどが考えられる。
	*21	相手方の端末から切断されました。(電話の可能性)	回線は接続したが、相手端末が FAX として起動しなかった場合に発生。 原因としては以下のような可能性がある ①FAX として起動しなかったため、FAX 機でない普通の電話機の可能性。 ②電話と FAX を共用している場合、たまたま人が出て FAX モードに切り替えなかった可能性。 ③留守番電話機能付き FAX の場合、設定により FAX として応答しなかった可能性。 ④用紙切れの場合、FAX として応答しない機種であった。
	*22	ご指定の電話番号は現在使われておりません。	宛先に現在使われていない番号を指定した。 －相手端末番号変更(移転など)

	*31	相手方の端末にエラーが発生しました。	着 FAX 端末からの不正切断など 相手 FAX 端末との通信途中で紙切れ／紙詰まりなどの異常を検出。
	*32	相手方の端末の記録用紙がなくなりました。	着 FAX 端末にて紙切れ、紙詰まりが発生した。 相手 FAX 端末との通信途中で紙切れ／紙詰まりなどの異常を検出。
	*50	この電話番号は指定できません。(再送信できません)	宛先の指定誤り —スマートキャストサービスとして配送できない宛先を指定 宛先ファイル同報サービスをご利用時、宛先ファイルデータ内の宛先情報記載が無い
	*51	宛先にメールが指定されています。	宛先の指定誤り —メールからの発信で宛先にメールを指定した。
	*52	宛先指定に誤りがあります。(再送信できません)	宛先の指定誤り —電話番号の桁数が短い(市外局番を省略した) —電話番号の桁数が長い 宛先ファイル同報サービスをご利用時、宛先ファイルデータ内の宛先情報が不正(電話番号でない)
	*54	差し込みデータに誤りがあります。(再送信できません)	宛先ファイルの書式に誤りがあり、相手先に配送できなかった。
	*55	国際サービスはご利用になれません。(再送信できません)	国際 FAX サービスを未契約のお客様が、国際宛先(010～)を宛先に指定した。
	*60	発信者の設定または契約内容が誤っています。	時刻指定送信において、指定時刻時点で発側のご契約が解除されていたため、配送を実施できない。
	*61	指定された番号は、着信課金サービス非契約です。	着信課金に未契約の宛先に対して、着信課金通信を配送しようとした。
	*62	指定された番号の着信課金サービスは利用できません。	相手先が発信指定型着信課金をご利用で、着信課金許容番号に発信者の番号未登録

4.4 登録メール

4.4.1 宛先リスト登録メール

宛先リストの登録を行うためにスマートキャストへ送信するメールの例を図 4.4.1 に示します。

To: #334@olink.ne.jp From: yama@abc.ntt.com Subject: touroku 1 Mime-Version: 1.0 Content-Type: multipart/mixed; boundary="===== _885400247==_"	① ② ③ ④
===== _885400247==_ Content-Type: text/plain; charset="ISO-2022-JP" #userid=5001234567 #passwd=tyama890 ===== _885400247==_ Content-Type: application/octet-stream; name="atesaki.txt"; Content-Transfer-Encoding: base64 OM8R4KGxGuEAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAPgADAP7/CQAGAAAAAAAAAAAAAAAAKAAAA+wQAAAAAAAAAA EAAA6QAAAAEAAAD+////AAAAPEEAADyBAAA8wQAAPQEAAAD1BAAA9gQAAPcEAAD4BAAA+QQAAPoE AAD//////////////////////////////////// :	⑤ ⑥

図 4.4.1 宛先リスト登録メールの例

[各フィールドの説明]

- ① : 【メールヘッダ】宛先リスト登録の送信手順とドメインを設定します。
- ② : 【メールヘッダ】利用者のメールアドレスを設定します。
- ③ : 【メールヘッダ】メールの題名を記述します。
- ④ : 【メールヘッダ】MIME のバージョンと multipart を示します。Boundary はメーラーによって使用する文字列が異なります。
- ⑤ : 【メール本文】MIME の第 1 パート（本文）です。
- ⑥ : 【メール本文】MIME の第 2 パート（宛先リスト登録用ファイル）です。

4.4.2 宛先リスト登録通知メール

スマートキャストが宛先リスト登録処理を完了したときに送信する宛先リスト登録通知メールの例を図 4.4.2.1 に、宛先リスト登録を正常に終了できなかったときに送信する通知メールの例を図 4.4.2.2 に示します。

To: yama@abc.ntt.com	①
From: admin@olink.ne.jp	②
Subject: Acceptance: touroku 1	③
***** NTT コミュニケーションズからのお知らせ *****	④
InternetFAX (iFAX) をご利用頂き、ありがとうございます。	
次の通信を受け付けましたので、お知らせします。	⑤
【発信日時】 : 1998年 6月26日 9時10分	⑥
【発信者ID】 : 5001234567	⑦
【ファイル名】 : atesaki.txt	⑧
「宛先リストの確認（無料）」にて確認していただくことをおすすめします。	⑨
全宛先リストの登録内容を確認する場合	
#345@olink.ne.jp	
1 宛先リストの登録内容を確認する場合	
#345【宛先リスト番号】@olink.ne.jp	

図 4.4.2.1 宛先リスト登録通知メールの例（正常登録時）

[各フィールドの説明]

- ①：【メールヘッダ】 通知メールの送信先です。
サービス利用時に From: に設定されていたアドレスを設定します。
- ②：【メールヘッダ】 スマートキャストの管理アドレスが設定されます。
- ③：【メールヘッダ】 サービス利用時の Subject: に固定メッセージを付加したものを設定します。
- ④：【メール本文】 スマートキャストの通知メールであることを示します。
- ⑤：【メール本文】 宛先リスト登録を受け付けたことを示します。
(全宛先の登録が OK の時のみ)
- ⑥：【メール本文】 発信日時を示します。
- ⑦：【メール本文】 お客さま番号を示します。
- ⑧：【メール本文】 宛先リスト登録要求呼に添付されたファイル名を示します。
- ⑨：【メール本文】 宛先リストの確認のガイダンスを表示します。

To: yama@abc.ntt.com	①
From: admin@olink.ne.jp	②
Subject: Reject:touroku 1	③
***** NTTコミュニケーションズからのお知らせ ***** InternetFAX (iFAX) をご利用頂き、ありがとうございます。 次の通信は、受付できませんでしたのでお知らせします。	④
【発信日時】 : 1998年 6月26日 9時10分	⑤
【発信者ID】 : 5001234567	⑥
【ファイル名】 : atesaki.txt	⑦
すべての宛先の登録を受付できませんでした。	⑧
【受付不可理由】 : *73 宛先リストファイルの形式に誤りがあります。	⑨
10行目でエラーが発生しました。	⑩
"05", "0355555555", "株式会社〇〇〇〇〇 × × × × 事業部 △△△課 ●●様"	⑪

図 4. 4. 2. 2 宛先リスト登録通知メール（登録異常時）

[各フィールドの説明]

- ①：【メールヘッダ】 通知メールの送信先です。
サービス利用時に From: に設定されていたアドレスを設定します。
- ②：【メールヘッダ】 スマートキャストの管理アドレスが設定されます。
- ③：【メールヘッダ】 サービス利用時の Subject: に固定メッセージを付加したものを設定します。
- ④：【メール本文】 スマートキャストの通知メールであることを示します。
- ⑤：【メール本文】 宛先リスト登録の受け付けができなかったことを示します。
- ⑥：【メール本文】 発信日時を示します。
- ⑦：【メール本文】 お客さま番号を示します。
- ⑧：【メール本文】 宛先リスト登録要求呼に添付されたファイル名を示します。
- ⑨：【メール本文】 登録が無効であることを示します。
- ⑩：【メール本文】 登録ができなかった理由を示します。
- ⑪：【メール本文】 登録用ファイル内において登録エラーが発生した行を示します。

4.4.3 宛先リストファイルの作成方法

宛先リストの登録メールに添付する宛先リストファイルの作成方法を以下に示します。

拡張子を"txt"または"TXT"とすること。

SHIFT-JIS で記述したテキストファイルとします（CSV 形式）。

1 行目は宛先リスト登録を示す識別子を左詰め・半角で記述します。識別子の一覧を表 4.3.3 に示します。

表 4.4.3 宛先リストファイルのファイル識別子一覧

	漢字宛名の有無	1 行あたりの カラム数	識別子
登録	有	3	#GLIST-D*: 又は 70.01.01:
	無	2	#GLIST-D:
追加	有	3	#GADD-D*:
	無	2	#GADD-D:
削除 (宛先毎)	有	3	#GDEL-D*:
	無	2	#GDEL-D:
削除 (リスト毎)		1	#GDEL-G:

ファイル識別子は省略可能です。ファイル識別子を省略した場合、登録ファイルとして扱います。その際に、1 行目が 3 カラムの場合は漢字宛名あり、1 行目が 2 カラムの場合は漢字宛名なしとして扱います。

2 行目以下は 1 行につき 1 宛先を記述します。図 4.4.3.1 に登録の場合の記述法を示します。作成例を図 4.4.3.2 に示します。

1 ファイルで登録可能な宛先数は、最大 10,000 宛先までとします。

1 リスト番号に登録可能な宛先数は、最大 1,000 宛先までとします。

宛先リスト番号は 2～4 桁の半角数字で記述します。1 桁の場合 0 を付加し、2 桁にします。

国内宛先電話番号は市外局番から 10 桁の半角数字で記述します。

海外宛先電話番号は【010+宛先国番号+宛先国内番号】形式かつ半角数字 18 桁以内で記述します（010 を含め半角 18 桁以内）。

漢字宛名は全角 32（半角 64）文字以内で記述します。但し“□”（JIS : 2222、S-JIS : 81A0）は右寄せコードとし、“□”以前の文字を左寄せ、“□”以降の文字を右寄せして漢字宛名として表示します。また、漢字宛名にカンマ「,」は記述できません。

空行は無視します。

ダブルクォーテーション「"」及びカンマ「,」は、半角で記述します。また、ダブルクォーテーション「"」は省略可能です。

漢字宛名に使用できる文字については、「3.3.1 テキスト文書ファイル」の「文字コード（2）Shift JIS コード」に準じます。

その他の条件は「3.3.1 テキスト文書ファイル」に準じます。

① 漢字宛名を利用する場合

#GLIST-D*:^{CR}_{LF}
 “宛先リスト番号”, “電話番号”, “漢字宛名”^{CR}_{LF}
 “宛先リスト番号”, “電話番号”, “漢字宛名”^{CR}_{LF}

70.01.01:^{CR}_{LF}
 “宛先リスト番号”, “電話番号”, “漢字宛名”^{CR}_{LF}
 “宛先リスト番号”, “電話番号”, “漢字宛名”^{CR}_{LF}

② 漢字宛名を利用しない場合

#GLIST-D:^{CR}_{LF}
 “宛先リスト番号”, “電話番号”^{CR}_{LF}
 “宛先リスト番号”, “電話番号”^{CR}_{LF}

図 4.4.3.1 宛先リスト情報の記述法

#GLIST-D*:^{CR}_{LF}
 “02”, “0311111111”, “●●●●●●●●事業部△△△△△サービス部 様”^{CR}_{LF}
 “02”, “0311111112”, “”^{CR}_{LF}
 “15”, “0311111113”, “○○○○○○○営業支店 様”^{CR}_{LF}
 “15”, “0451111111”, “××××××営業支店 様”^{CR}_{LF}

「02」のリストに「0311111111」・「0311111112」を、
 「15」のリストに「0311111113」・「0451111111」を登録する場合があります。

図 4.4.3.2 宛先リストファイルの作成例

4.4.4 宛先リスト確認要求メール

宛先リストの登録内容を確認するために送信する、宛先リスト確認要求メールの例を
図 4.4.4 に示します。

To: #345@olink.ne.jp	①
From: yama@abc.ntt.com	②
Subject: kakunin	③
#userid=5001234567	④
#passwd=tyama890	⑤

図 4.4.4 宛先リスト確認要求メールの例

[各フィールドの説明]

- ① : 【メールヘッダ】宛先リスト確認の手順とドメインを設定します。
- ② : 【メールヘッダ】利用者のメールアドレスを設定します。
- ③ : 【メールヘッダ】メールの題名を記述します。
- ④ : 【メール本文】お客さま番号を記述します。
- ⑤ : 【メール本文】パスワードを記述します。

4.4.5 ファクシミリ案内登録・消去要求メール（情報提供者用）

ファクシミリ案内情報提供者が情報を登録する際に、送信する登録要求メールの例を
図 4.4.5 に示します。

To: #28290@olink.ne.jp From: yama@abc.ntt.com Subject: touroku FAX Mime-Version: 1.0 Content-Type: multipart/mixed; boundary="===== _885400247==_"	① ② ③
===== _885400247==_ Content-Type: text/plain; charset="ISO-2022-JP" #userid=5001234567 #passwd=tyama890 ===== _885400247==_ Content-Type: application/octet-stream; name="touroku.tif"; Content-Transfer-Encoding: base64 OM8R4KGxGuEAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAPgADAP7/CQAGAAAAAAAAAAAAAAAAAKAAAA+wQAAAAAAAAAA EAAA6QAAAAEAAAD+////AAAAPEEAADyBAAA8wQAAPQEAAD1BAAA9gQAAPcEAAD4BAAA+QQAAPoE AAD//////////////////////////////////// :	④ ⑤

図 4.4.5 ファクシミリ案内登録メールの例

[各フィールドの説明]

- ① : 【メールヘッダ】ファクシミリ案内登録手順・消去手順とドメインを設定します。
本例では、「#282=登録手順」・「90=情報案内番号」です。
- ② : 【メールヘッダ】お客さまのメールアドレスを設定します。
- ③ : 【メールヘッダ】メールの題名を記述します。
- ④ : 【メール本文】お客さま番号を記述します。
- ⑤ : 【メール本文】パスワードを記述します。

4.4.6 ファクシミリ案内登録通知メール（情報提供者用）

ファクシミリ案内情報提供者が情報を登録する際に、送信する登録通知メールの例を
図 4.4.6 に示します（正常登録時）。

To: yama@abc.ntt.com	①
From: admin@olink.ne.jp	②
Subject: Acceptance:touroku 1	③
***** NTTコミュニケーションズからのお知らせ *****	④
InternetFAX(iFAX)をご利用頂き、ありがとうございます。	⑤
ファクシミリ案内の登録を完了しましたので、お知らせします。	⑥
【発信日時】 : 1998年 6月26日 9時10分	⑦
【発信者ID】 : 5001234567	⑧
【添付ファイル】 : infomaiton.tif 他、合計 2ファイル	⑨
【契約頁数】 : 100	⑩
【総登録頁数】 : 20	⑪
【指定BOX登録頁数】 : 3	⑫
【登録要求頁数】 : 3	

図 4.4.6 ファクシミリ案内登録通知メールの例（正常登録時）

[各フィールドの説明]

- ①：【メールヘッダ】通知メールの送信先です。
サービス利用時に From: に設定されていたアドレスを設定します。
- ②：【メールヘッダ】スマートキャストの管理アドレスが設定されます。
- ③：【メールヘッダ】サービス利用時の Subject: に固定メッセージを付加したものを設定
します。
- ④：【メール本文】スマートキャストの通知メールであることを示します。
- ⑤：【メール本文】ファクシミリ案内登録が完了したことを示します。
(全宛先の登録が OK の時のみ)
- ⑥：【メール本文】発信日時を示します。
- ⑦：【メール本文】お客さま番号を示します。
- ⑧：【メール本文】ファクシミリ案内登録要求時に添付されたファイル名を示します。
- ⑨：【メール本文】ファクシミリ案内の契約ページ数を示します。
- ⑩：【メール本文】登録完了後の総登録ページ数を示します。
- ⑪：【メール本文】登録完了後に指定した情報案内（BOX）番号上に登録されたペー
ジ数を示します。
- ⑫：【メール本文】登録要求時に登録しようとしたページ数を示します。

4.4.7 ファクシミリ案内登録確認要求メール（情報提供者用）

ファクシミリ案内の登録内容を確認するために送信する、ファクシミリ案内登録確認要求メールの例を図 4. 4. 7 に示します。

To: #28890@olink.ne.jp From: yama@abc.ntt.com Subject: kakunin	① ② ③
#userid=5001234567 #passwd=tyama890	④ ⑤

図 4. 4. 7 ファクシミリ案内登録確認要求メールの例

[各フィールドの説明]

- ①：【メールヘッダ】ファクシミリ案内登録確認の手順とドメインを設定します。
ただし、「#288=登録確認手順」・「90=情報案内番号」です。
- ②：【メールヘッダ】お客さまのメールアドレスを設定します。
- ③：【メールヘッダ】メールの題名を記述します。
- ④：【メール本文】 お客さま番号を記述します。
- ⑤：【メール本文】 パスワードを記述します。

4.4.8 ファクシミリ案内開始・停止要求メール（情報提供者用）

ファクシミリ案内情報提供者が登録した情報の公開状態を開始・停止する際に送信する、開始・停止要求メールの例を図 4. 4. 8 に示します。

To: #28190@olink.ne.jp From: yama@abc.ntt.com Subject: touroku FAX Content-Type: text/plain; charset="ISO-2022-JP"	① ② ③
#userid=5001234567 #passwd=tyama890	④ ⑤

図 4. 4. 8 ファクシミリ案内開始・停止メールの例

[各フィールドの説明]

- ①：【メールヘッダ】ファクシミリ案内開始手順・停止手順とドメインを設定します。
本例では、「#281=開始手順」・「90=情報案内番号」です。
- ②：【メールヘッダ】お客さまのメールアドレスを設定します。
- ③：【メールヘッダ】メールの題名を記述します。
- ④：【メール本文】 お客さま番号を記述します。
- ⑤：【メール本文】 パスワードを記述します。

4.4.9 ファクシミリ案内開始・停止通知メール（情報提供者用）

ファクシミリ案内情報提供者が登録した情報の公開状態を開始・停止した際に、送信する開始・停止通知メールの例を図 4. 4. 9 に示します（正常登録時）。

To: yama@abc.ntt.com	①
From: admin@olink.ne.jp	②
Subject: Acceptance:touroku FAX	③
***** NTTコミュニケーションズからのお知らせ ***** InternetFAX「iFAX」をご利用頂き、ありがとうございます。 ファクシミリ案内の開始を完了しましたので、お知らせします。	④
	⑤
【発信日時】 : 2001年 1月23日 9時10分	⑥
【発信者ID】 : 5001234567	⑦

図 4. 4. 9 ファクシミリ案内開始・停止通知メールの例（正常登録時）

[各フィールドの説明]

- ①：【メールヘッダ】通知メールの送信先です。
サービス利用時に From: に設定されていたアドレスを設定します。
- ②：【メールヘッダ】スマートキャストの管理アドレスが設定されます。
- ③：【メールヘッダ】サービス利用時の Subject: に固定メッセージを付加したものを設定します。
- ④：【メール本文】スマートキャストの通知メールであることを示します。
- ⑤：【メール本文】ファクシミリ案内開始が完了したことを示します。
- ⑥：【メール本文】発信日時を示します。
- ⑦：【メール本文】お客さま番号を示します。

4.4.10 ファクシミリ案内利用状況確認要求メール（情報提供者用）

ファクシミリ案内情報提供者が登録した情報の利用状況を確認する際に送信する、利用状況案内要求メールの例を図 4. 4. 10 に示します。

To: #285@olink.ne.jp	①
From: yama@abc.ntt.com	②
Subject: touroku FAX	③
Content-Type: text/plain; charset="ISO-2022-JP"	
#userid=5001234567	④
#passwd=tyama890	⑤

図 4. 4. 10 ファクシミリ案内利用状況確認要求メールの例

[各フィールドの説明]

- ①：【メールヘッダ】ファクシミリ案内利用状況確認要求手順とドメインを設定します。
- ②：【メールヘッダ】お客さまのメールアドレスを設定します。
- ③：【メールヘッダ】メールの題名（任意）を記述します。
- ④：【メール本文】お客さま番号を記述します。
- ⑤：【メール本文】パスワードを記述します。

4.4.11 再呼回数登録メール

発信者が着宛先に着信させる時の再呼する回数を指定します。メールの例を図 4. 4. 11 に示します。

To: #463XX@olink.ne.jp From: yama@abc.ntt.com Subject: re-call number Content-Type: text/plain; charset="ISO-2022-JP"	① ② ③
#userid=5001234567 #passwd=tyama890	④ ⑤

図 4. 4. 11 再呼回数指定メールの例

[各フィールドの説明]

- ①：【メールヘッダ】登録手順と再呼回数およびドメインを設定します。XX は再呼回数を指定します。0 から 55 の間で指定することができます。
- ②：【メールヘッダ】お客さまのメールアドレスを設定します。
- ③：【メールヘッダ】メールの題名を記述します。
- ④：【メール本文】お客さま番号を記述します。
- ⑤：【メール本文】お客さまのパスワードを記述します。

4.4.12 再呼回数登録通知メール

再呼回数を登録する際に、送信する登録通知メールの例を図 4. 4. 12 に示します。
(正常登録時)

To: yama@abc.ntt.com From: admin@olink.ne.jp Subject: Acceptance: re-call number	① ② ③
***** NTTコミュニケーションズからのお知らせ ***** InternetFAX (iFAX) をご利用頂き、ありがとうございます。 次の通信を受け付けましたので、お知らせします。	④
【発信日時】 : YYYY年MM月DD日 hh時mm分	⑤
【発信者ID】 : 5001234567	⑥
【指定再呼回数】 : XX回	⑦
	⑧

図 4. 4. 12 再呼回数登録通知メールの例（正常登録時）

[各フィールドの説明]

- ①：【メールヘッダ】通知メールの送信先です。
サービス利用時に From: に設定されていたアドレスを設定します。
- ②：【メールヘッダ】スマートキャストの管理アドレスが設定されます。
- ③：【メールヘッダ】サービス利用時の Subject: に固定メッセージを付加したものを設定します。
- ④：【メール本文】スマートキャストの通知メールであることを示します。
- ⑤：【メール本文】再呼回数登録が完了したことを示します。
- ⑥：【メール本文】発信日時を示します。
- ⑦：【メール本文】お客さま番号を示します。
- ⑧：【メール本文】登録された再呼回数を示します。

4.5 案内メール

お客さまがスマートキャスト内に登録した情報を確認する時に、スマートキャストからお客さまへ確認情報の内容を送信するメールが案内メールです。

4.5.1 宛先リスト確認案内メール

宛先リストの登録確認を行うと、メール本文に登録内容を記載した宛先確認案内メールが送信されます。宛先リスト確認案内メールの例を図 4.5.1 に示します。

To: yamada@abc.ntt.com	①
From: admin@olink.ne.jp	②
Subject: Report:kakunin	③
***** NTTコミュニケーションズからのお知らせ ***** お客様の指定された登録情報をご案内します。	④
【発信日時】 : 1998年 6月26日 9時10分	⑤
【発信者ID】 : 5001234567	⑥
【指定内登録宛先数】 : 3	⑦
【全登録宛先数】 : 15	⑧
#GLIST-D*:	⑨
"02", "0311111111", "△△△△△サービス部××××営業所 様"	⑩
"02", "0311111112", ""	
"15", "0411111113", "〇〇株式会社総務部 様"	

図 4.5.1 宛先リスト確認案内メールの例

[各フィールドの説明]

- ①：【メールヘッダ】案内メールの送信先を示します。
サービス利用時に From: に設定したアドレスを設定します。
- ②：【メールヘッダ】スマートキャストの管理アドレスが設定されます。
- ③：【メールヘッダ】サービス利用時の Subject: に固定メッセージ「Report:」を付加したものを設定します。
- ④：【メール本文】宛先リスト確認であることを示します。
- ⑤：【メール本文】発信日時を示します。
- ⑥：【メール本文】お客さま番号を示します。
- ⑦：【メール本文】お客さまが確認したリスト内の登録数を示します。
- ⑧：【メール本文】宛先リスト内の全登録数を示します。
- ⑨：【メール本文】宛先リスト情報であることを示す識別子です。
- ⑩：【メール本文】登録情報を示します。フォーマットは「4.4.3 宛先リストファイルの作成方法」をご参照ください。「漢字宛名」を利用しない場合でも3カラムで表示されます。

4.5.2 ファクシミリ案内登録確認案内メール（情報提供者用）

ファクシミリ案内情報提供者が登録した情報を確認する際の登録確認案内メールの例を図 4.5.2 に示します。

To: yamada@abc.ntt.com From: admin@olink.ne.jp Subject: Report:kakunin	① ② ③
Date: 1998/12/10 13:19 From: 0311111111	④ ⑤
***** NTT コミュニケーションズからのお知らせ ***** お客様が指定された登録情報をお届けします。	⑥
【情報案内番号】 : 0311111111 【ページ数】 : 2	⑦ ⑧
20125-01.tif（添付ファイル）	⑨

図 4.5.2 ファクシミリ案内登録確認案内メールの例

[各フィールドの説明]

- ①：【メールヘッダ】通信メールの送信先が設定されます。
サービス利用時に From: に設定したアドレスを設定します。
- ②：【メールヘッダ】スマートキャストの管理アドレスが設定されます。
- ③：【メールヘッダ】サービス利用時の Subject: に固定メッセージ「Report:」を付加したものを設定します。
- ④：【メール本文】発信日時を示します（日付発番情報）。
- ⑤：【メール本文】発信者番号（情報提供者のお客さま番号）を示します。
（日付発番情報）
- ⑥：【メール本文】スマートキャストの登録確認であることを示します。
- ⑦：【メール本文】情報提供者のお客さま番号（電話番号）を示します。
- ⑧：【メール本文】登録情報の頁数（＝添付ファイル数）を示します。
- ⑨：【添付ファイル】登録情報を TIFF 形式画像ファイルとして添付していることを示します（複数頁の場合は、マルチページの TIFF 形式の 1 ファイルとなります）。

4.5.3 ファクシミリ案内利用状況確認案内メール（情報提供者用）

ファクシミリ案内情報提供者が登録した情報の利用状況を確認する際に送信される利用状況確認案内メールの例を図 4.5.3 に示します。

To: yama@abc.ntt.com						①
From: admin@olink.ne.jp						②
Subject: Report:touroku FAX						③
***** NTTコミュニケーションズからのお知らせ *****						④
お客様のファクシミリ案内情報のご利用状況をお知らせします。						
【発信日時】 : 2001年 1月23日 4時56分						⑤
【発信者ID】 : 5001234567						⑥
【契約頁数】 : 1000						⑦
【総登録頁数】 : 1000						⑧
案内 番号	登録 頁数	状態	更新後の 利用回数	通算 利用回数	更新後の 利用頁数	⑨
0	1	開始	12345	12345	1234567	⑩
1	12	停止	54321	54322	2345678	
123	32	開始	67890	98765	9999999	
456	9	停止	7890	8765	987654	

図 4.5.3 ファクシミリ案内利用状況確認案内メールの例

[各フィールドの説明]

- ①：【メールヘッダ】案内メールの送信先を示します。
サービス利用時に From: に設定したアドレスを設定します。
- ②：【メールヘッダ】スマートキャストの管理アドレスが設定されます。
- ③：【メールヘッダ】サービス利用時の Subject: に固定メッセージ「Report:」を付加したものを設定します。
- ④：【メール本文】利用状況確認であることを示します。
- ⑤：【メール本文】発信日時が設定されます。
- ⑥：【メール本文】お客さま番号を示します。
- ⑦：【メール本文】ファクシミリ案内サービスの契約頁数を示します。
- ⑧：【メール本文】現在登録されている情報の頁数を示します。
- ⑨：【メール本文】出力されるご利用状況の内容を示します。
- ⑩：【メール本文】各登録情報のご利用状況を案内番号毎に示します。

4.6 通信メール

4.6.1 同報通信における通信メール

FAX から E-mail へ同報通信を行う場合に、スマートキャストから着信者へ送られる通信メールの例を図 4.6.1 に示します。

To: yama@abc.ntt.com	①
From: 0311111111@olink.ne.jp	②
Subject: Fax-Mail Service	③
Date: 1998/12/10 10:10	④
From: 0311111111	⑤
【お届け先】〇〇株式会社 様	⑥
NTTコミュニケーションズ「InternetFAX (iFAX)」Fax-Mailサービスです。	⑦
【添付ファイル数】 1ファイル	⑧
20125-01.tif (添付ファイル)	⑨

図 4.6.1 同報通信における通信メールの例

[各フィールドの説明]

- ①：【メールヘッダ】通信メールの送信先が設定されます。
サービス利用時に From: に設定したアドレスを設定します。
- ②：【メールヘッダ】「発信者番号」＋「@olink.ne.jp」という形式で設定されます。
- ③：【メールヘッダ】Fax→E-mail 通信を表わす固定メッセージ「Fax-Mail Service」が設定されます。
- ④：【メール本文】発信日時を示します（日付発番情報）。
- ⑤：【メール本文】発信者番号を示します（日付発番情報）。
- ⑥：【メール本文】送信先の漢字宛名を示します。
ただし、発信側が「漢字宛名」を利用した場合のみ設定されます。
- ⑦：【メール本文】スマートキャストの Fax-Mail サービスであることを示します。
- ⑧：【メール本文】添付ファイル数を示します。
- ⑨：【添付ファイル】発信者が送信したコンテンツが TIFF 形式画像ファイルとして添付されていることを示します。

4.6.2 ファクシミリ案内における取出しメール（情報取出し者用）

情報提供者が登録した情報をファクシミリ案内サービス利用者が取出す際の通信メールの例を図 4. 6. 2 に示します。

To: yamada@abc.ntt.com	①
From: admin@olink.ne.jp	②
Subject: Fax Info: abc	③
Date: 1998/12/10 13:19	④
From: 0311111111	⑤
NTTコミュニケーションズ「InternetFAX(iFAX)」Fax-Mailサービスです。	⑥
【添付ファイル数】 1ファイル	⑦
20125-01.tif(添付ファイル)	⑧

図 4. 6. 2 ファクシミリ案内取出しメールの例

[各フィールドの説明]

- ①：【メールヘッダ】通信メールの送信先が設定されます。
- ②：【メールヘッダ】スマートキャストの管理アドレスが設定されます。
- ③：【メールヘッダ】送信時の Subject に固定メッセージ「Fax Info:」を付加します。
- ④：【メール本文】 発信日時を示します（日付発番情報）。
- ⑤：【メール本文】 発信者番号(情報提供者のお客さま番号)を示します。
(日付発番情報)
- ⑥：【メール本文】 スマートキャストの Fax-Mail サービスであることを示します。
- ⑦：【メール本文】 取り出した情報の页数（＝添付ファイル数）を示します。
- ⑧：【添付ファイル】登録情報を TIFF 形式画像ファイルとして添付していることを示します。

5 OCR 機能

5.1 機能概要

OCR 機能は、特定発信手順で送られてきたマークシートを、スマートキャストにて認識・解析を行い、その結果を所定のファイル形式に変換して着信側へメール送信する機能です。OCR 機能におけるサービス種別を表 5.1.1 に示します。

表 5.1.1 OCR 機能におけるサービス種別

サービス種別	概 要
マークシート読み取り	受信用紙形式はマークシートのみです。 全ページをマークシート認識対象とし、テキストファイル又はイメージファイルへの変換を行います。
パタン投入	受信用紙形式は、1 枚目のみがマークシート、2 枚目以降が通常用紙です。 1 ページ目のみをマークシート認識対象とし、テキストファイル又はイメージファイルへの変換を行います。 2 ページ目以降は、1 ページに付き 1 つの TIFF ファイルへの変換を行います。

また、マークシート読み取りサービスについては、お客さまのご契約により「イメージ情報通知サービス」が選択可能です。「イメージ情報通知サービス」の概要を表 5.1.2 に示します。

※「イメージ情報通知サービス」は「パタン投入サービス」ではご利用になれません。

表 5.1.2 マークシート読み取りサービスにおけるイメージ情報通知サービス概要

サービス種別		概 要
マ ー ク シ ー ト 読 み 取 り	イメージ情報通知サービスなし (デフォルト)	マークシート認識時、正常に認識できないページがあった場合、スマートキャストは該当ページ以降の認識処理を中断します。 ・着信 E-mail の本文上に、該当ページの認識異常の要因を記載します。 ・着信 E-mail に添付する認識結果のファイルは正常に認識できなかったページより以前のページのみとなります。
	イメージ情報通知サービスあり (別途ご契約)	マークシート認識時、正常に認識できないページがあった場合でも（注 1）、スマートキャストは全ページの認識処理を行います。 ・着信 E-mail の本文上に、全てのページの認識要因（正常/異常）を記載します。 ・着信 E-mail に添付する認識結果のファイルは正常に認識できなかったページも含めて全てのページとなります（注 2）。 ・着信 E-mail に、全ページのマークシートの原画イメージを TIFF 形式で添付します。

（注 1） 正常に認識できないページが「白紙」であった場合は、イメージ情報通知サービスなしと同等になります。

（注 2） 正常に認識できないページの認識結果ファイルの内容については、5.2.2 項を参照して下さい。

5.2 着信側 E-mail の仕様

マークシート読み取りサービス（イメージ情報通知サービスあり／なし）及びパタン投入サービスの各サービスにおける着信側 E-mail の仕様を示します。マークシートの仕様およびマークシート記入上の注意に関しては、以下に示す付録を参照してください。

付録 A マークシート仕様

付録 B センタ配送形マークシートの設計

付録 C マークシート記入上の注意事項

5.2.1 各サービス共通の仕様

着信 E-mail に添付されるファイル形式を表 5.2.1.1 に示します。

表 5.2.1.1 着信 E-mail における添付ファイル形式

添付ファイル形式	拡張子	変換前の情報
TIFF 形式画像ファイル	tif	<ul style="list-style-type: none"> ・マークシートにおけるパタン情報 ・パタン投入サービスにおける通常のイメージ情報 ・イメージ情報通知サービスで付与されるマークシート原画のイメージ情報
テキストファイル (CSV 形式・S-JIS)	txt	・マークシートにおけるコード情報 (マーク欄・文字認識欄)

マークシート上で認識対象となる情報は、マーク欄・文字認識欄に記述された「コード情報」とパタン欄に記述された「パタン情報」です。

コード情報」に関しては、マーク欄・文字認識欄を含むマークシートの枚数分のテキストファイルが作成され、受信メールに添付されます。すなわち、マークシート 1 枚につき複数のコード欄がある場合でも、「コード情報」は一つのテキストファイルにまとめられます。「コード情報」で認識する文字を表 5.2.1.2 に示します。

表 5.2.1.2 「コード情報」で認識する文字

	マーク欄		文字認識欄（常用手書き、ガイドライン付き）	
	塗りつぶし有	塗りつぶし無	数字、英字、記号	カナ
認識結果	1	0	表 5.2.1.3 参照	表 5.2.1.4 参照
JIS コード	「0x0031」	「0x0030」		

表 5.2.1.3 S-JIS におけるスマートキャスト対応文字 1（網掛け部分）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0020	SP	!	“	#	\$	%	&	‘	()	*	+	,	-	.	/
0030	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0050	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[¥]	^	_
0060	`	A	B	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0070	p	Q	R	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	

（注 1）0x007B～0x007E に関しては、ガイドライン付き文字認識欄のみ可能です。

（注 2）0x003F（“?”）については、イメージ情報通知サービスありにおける、認識不能文字の代替コードです。

表 5.2.1.4 S-JIS におけるスマートキャスト対応文字 2 (網掛け部分)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8140		、	。	,	.	・	:	;	?	!	ゝ	°	´	`	¨	^
															
8150	＝	＝	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
															
8340	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ
8350	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ
8360	チ	ヂ	ツ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ
8370	パ	ピ	ピ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ	
8390	ム	メ	モ	ヤ	ヤ	ユ	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ワ
83A0	キ	エ	ヲ	ン	ヴ	カ	ケ									

「パターン情報」に関しては、同一マークシートに複数のパターン欄がある場合、パターン欄毎に TIFF ファイルが作成され、受信メールに添付されます。

添付ファイルとしてスマートキャストが送信するファイルのファイル名には、以下のルールがあります。

○マークシートのコード情報変換後のテキストファイル：「ocrXX.txt」

XX：先頭からのページ番号(01～)

○マークシートのパターン情報変換後の TIFF ファイル：「ptnXX_YY.tif」

XX：先頭からのページ番号(01～)

YY：同一マークシート上に複数のパターン欄がある場合のパターン欄番号(01～)

○パタン投入サービスにおける 2 ページ以降の用紙変換後の TIFF ファイル：「ptnXX.tif」

XX：先頭からのページ番号(02～)

○イメージ情報通知サービスありの場合のマークシート原画イメージの TIFF ファイル
：「sheetXX.tif」

XX：先頭からのページ番号(01～)

添付ファイル OCR 機能に関する受付不可理由一覧を以下の表 5. 2. 1. 5 に示します。

表 5. 2. 1. 5 OCR 機能に関する受付不可理由一覧

エラー種別	認識結果	表示メッセージ
文字認識 不能頁	NG	正確に読みとれない文字、記号があります。
リジェクト頁	#	マークシート用紙を正常に認識できません。
詳細要因	01	サポートしていないマークシート種別です。
	02	マークシートが斜めに挿入されています。
	03	マークシートが白紙です。裏向きの可能性があります。
	04	ガイドライン付き数字行指定マークが長い。
	05	ガイドライン付き数字行指定マークが短い。
	06	常用手書き行指定マークが長い。
	07	常用手書き行指定マークが短い。
	08	マーク行指定マークが長い。
	09	マーク行指定マークが短い。
	10	読み飛ばしマーク行指定マークが長い。
	11	読み飛ばしマーク行指定マークが短い。
	12	タイミングマーク幅が規格外です。
	13	タイミングマーク数が規格外です。
	14	通信モードの設定が正しくありません。
	15	傾斜検出マークが2つとも検出できません。
	16	スタートマークが検出できません。
	17	エンドマークが検出できません。
	18	マークシートの長さが制限を越えています。
	20	規格外のマークシートです。
	21	タイミングマークの高さが足りません。
	22	基準位置マークが途切れているか見つかりません。

5.2.2 マークシート読み取りサービスイメージ情報通知なし

着信 E-mail の本文に記述する内容例を図 5.2.2.1 に、マークシート認識結果として送信する認識結果ファイル (ocrXX.txt) の内容例を図 5.2.2.2 に示します。

To: yama@abc.ntt.com	①
From: 0311111111@olink.ne.jp	②
Subject: Fax-Mail Service	③
Date: 1999/01/25 14:29	④
From: 0311111111	⑤
NTTコミュニケーションズ「InternetFAX(iFAX)」マークシート読み取りサービスです。	⑥
【添付ファイル数】 3ファイル	⑦
【ページ数】 1頁	⑧
頁 認識結果 認識結果ファイル名 パターン欄数	⑨
01 OK ocr01.txt 2	⑩
02 NG -- -	⑪
【結果の見方】 : OK 正常に認識できました。	
NG 正確に読み取れない文字、記号があります。	
ocr01.txt (添付ファイル1つ目)	⑫
ptn01_01.tif (添付ファイル2つ目)	
ptn01_02.tif (添付ファイル3つ目)	

図 5.2.2.1 マークシート読み取りサービスの通信メール例

[各フィールドの説明]

- ① : 【メールヘッダ】 通信メールの送信先が設定されます。
サービス利用時に From: に設定したアドレスを設定します。
- ② : 【メールヘッダ】 「発信者番号」 + 「@olink.ne.jp」という形式で設定されます。
- ③ : 【メールヘッダ】 Fax→E-mail 通信を表わす固定メッセージ「Fax-Mail Service」が設定されます。
- ④ : 【メール本文】 発信日時を示します (日付発番情報)。
- ⑤ : 【メール本文】 発信者番号を示します (日付発番情報)。
- ⑥ : 【メール本文】 スマートキャストのマークシート読み取りサービスであることを示します。
- ⑦ : 【メール本文】 添付ファイル数を示します。
- ⑧ : 【メール本文】 正常に受け付ける事のできたページ数を示します。
- ⑨ : 【メール本文】 認識結果の一覧を示します。
- ⑩ : 【メール本文】 正常に認識されたページを示します。
- ⑪ : 【メール本文】 正常に認識されなかったページを示します。
- ⑫ : 【添付ファイル】 マークシート読み取りサービスから送信されたコード情報ファイル(txt)、パターン情報ファイル(tif)を示します。

<system01>, 0311111111 ^{CR} _{LF}	①
<system02>, 01 ^{CR} _{LF}	②
<system03>, 0K ^{CR} _{LF}	③
<system04>, 1999/01/25 ^{CR} _{LF}	④
<system05>, 14:29 ^{CR} _{LF}	⑤
<system06>, 123456789 ^{CR} _{LF}	⑥
<01:character>, 1, 2, 3, A, B, , ア ^{CR} _{LF}	⑦
<02:pattern>, ptn01_01.tif ^{CR} _{LF}	⑧
<03:mark>, 0, 0, 1, 0, 0, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 0, 1, 1, 1, 1 ^{CR} _{LF}	⑨
<04:character>, フ, タ, ク, シ, 2, 4, 1 ^{CR} _{LF}	⑩

図 5.2.2.2 「ocr01.txt」の例

[各フィールドの説明]

システム用情報

- ①：発信者番号を示します。
- ②：ページ番号を示します。
- ③：認識結果を示します。
- ④：発信年月日を示します。
- ⑤：発信時刻を示します。
- ⑥：呼識別番号を示します。

ユーザ用情報

- ⑦：文字認識欄の認識結果を示します。空白は半角スペースを示します。
- ⑧：パタン欄の変換後の TIFF ファイル名を示します。
- ⑨：マーク欄の認識結果を示します。マークシートの 1 行につき 1 行とします。
- ⑩：2 つ目の文字認識欄の認識結果を示します。

5.2.3 マークシート読み取りサービスイメージ情報通知あり
 着信 E-mail の本文に記述する内容例を図 5.2.3.1 に示します。

To: yama@abc.ntt.com From: 0311111111@olink.ne.jp Subject: Fax-Mail Service and Image Information					① ② ③
Date: 1999/01/25 14:29 From: 0311111111					④ ⑤
NTTコミュニケーションズ「InternetFAX(iFAX)」マークシート読み取りサービスです。 【添付ファイル数】 11ファイル 【ページ数】 4頁					⑥ ⑦ ⑧
頁	認識結果	認識結果ファイル名	パターン欄数	イメージ通知	⑨ ⑩ ⑪ ⑫
01	OK	ocr01.txt	2	sheet01.tif	
02	NG	ocr02.txt	1	sheet02.tif	
03	#02	ocr03.txt	-	sheet03.tif	
04	OK	ocr04.txt	0	sheet04.tif	
【結果の見方】 : OK 正常に認識できました。 NG 正確に読み取れない文字、記号があります。 # マークシート用紙を正常に認識できません。 02 マークシートが斜めに挿入されています。					
ocr01.txt (添付ファイル1つ目) sheet01.tif (添付ファイル2つ目) ptn01_01.tif (添付ファイル3つ目) ptn01_02.tif (添付ファイル4つ目) ocr02.txt (添付ファイル5つ目) sheet02.tif (添付ファイル6つ目) ptn02_01.tif (添付ファイル7つ目) ocr03.txt (添付ファイル8つ目) sheet03.tif (添付ファイル9つ目) ocr04.txt (添付ファイル10つ目) sheet04.tif (添付ファイル11つ目)					⑬

図 5.2.3.1 マークシート読み取りサービス(イメージ情報通知有り)の通信メール例

[各フィールドの説明]

- ① : 【メールヘッダ】 通信メールの送信先が設定されます。
サービス利用時に From: に設定したアドレスを設定します。
- ② : 【メールヘッダ】 「発信者番号」 + 「@olink.ne.jp」という形式で設定されます。
- ③ : 【メールヘッダ】 Fax→E-mail 通信を表わす固定メッセージ「Fax-Mail Service」が設定されます。
- ④ : 【メール本文】 発信日時を示します(日付発番情報)。
- ⑤ : 【メール本文】 発信者番号を示します(日付発番情報)
- ⑥ : 【メール本文】 スマートキャストのマークシート読み取りサービスであることを示します。
- ⑦ : 【メール本文】 添付ファイル数を示します。
- ⑧ : 【メール本文】 正常に認識されなかったページ・受付が拒否されたページを含め、正常に受け付ける事のできたページ数を示します。

- ⑨ : 【メール本文】 認識結果の一覧を示します。
- ⑩ : 【メール本文】 正常に認識されたページを示します。
- ⑪ : 【メール本文】 正常に認識されなかったページを示します。
- ⑫ : 【メール本文】 受付が拒否されたページを示します。
- ⑬ : 【添付ファイル】 マークシート読み取りサービスから送信されたコード情報ファイル(txt)、パタン情報ファイル(tif)、イメージ通知ファイル(tif)を示します。

イメージ情報通知サービスありの場合の認識結果ファイルの内容については以下の3通りがあります。

- (1) マークシートに記述されているコード情報が正常に認識できた場合
- (2) マークシートに記述されているコード情報が正常に認識できなかった場合
- (3) マークシートとして認識できなかった場合

それぞれの認識結果ファイルの内容について以下に示します。

- (1) マークシートに記述されているコード情報が正常に認識できた場合

マークシートの認識結果として認識結果ファイル(ocrXX.txt)をお送りします。

認識結果ファイル(ocrXX.txt)上には、認識結果内容として正常であった旨を表示(system03にOKと表示します)し、正常に認識できたコード情報を記載します。

マークシート上にパターン欄があった場合には、パターン情報変換後のTIFFファイル(ptnXX_YY.tif)もお送りします。

また、マークシートの原画のイメージファイル(sheetXX.tif)についてもあわせてお送りします。

認識結果ファイル(ocrXX.txt)の例を図5.2.3.2に示します。

<system01>, 0311111111 ^{CR} _{LF}	①
<system02>, 01 ^{CR} _{LF}	②
<system03>, OK ^{CR} _{LF}	③
<system04>, 1999/01/25 ^{CR} _{LF}	④
<system05>, 14:29 ^{CR} _{LF}	⑤
<system06>, 123456789 ^{CR} _{LF}	⑥
<01;character>, 1, 2, 3, A, B, , ア ^{CR} _{LF}	⑦
<02;pattern>, ptn01_01.tif ^{CR} _{LF}	⑧
<03;mark>, 0, 0, 1, 0, 0, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 0, 1, 1, 1, 1 ^{CR} _{LF}	⑨
<04;character>, フ, タ, ク, シ, 2, 4, 1 ^{CR} _{LF}	⑩

図 5. 2. 3. 2 「ocr01.txt」の例

[各フィールドの説明]

システム用情報

- ①：発信者番号を示します。
- ②：ページ番号を示します。
- ③：認識結果として”OK”を示します。
- ④：発信年月日を示します。
- ⑤：発信時刻を示します。
- ⑥：呼識別番号を示します。

ユーザ用情報

- ⑦：文字認識欄の認識結果を示します。空白は半角スペースを示します。
- ⑧：パターン欄の変換後のTIFFファイル名を示します。
- ⑨：マーク欄の認識結果を示します。マークシートの1行につき1行とします。
- ⑩：2つ目の文字認識欄の認識結果を示します。

(2) マークシートに記述されているコード情報が正常に認識できなかった場合

マークシートの認識結果として認識結果ファイル(ocrXX.txt)をお送りします。

認識結果ファイル(ocrXX.txt)上には、認識結果内容として認識不能文字が検出された旨を表示(system03にNGと表示します)し、正常に認識できた文字については認識後の文字を表記し、また、正常に認識できなかった文字については代替コード”?”(0x003F)で表記したコード情報をお送りします。

マークシート上にパターン欄があった場合には、パターン情報変換後の TIFF ファイル(ptnXX_YY.tif)もお送りします。

また、マークシートの原画のイメージファイル(sheetXX.tif)についてもあわせてお送りします。

認識結果ファイル(ocrXX.txt)の例を図 5.2.3.3 に示します。

<system01>, 0311111111 ^{CR LF}	①
<system02>, 02 ^{CR LF}	②
<system03>, NG ^{CR LF}	③
<system04>, 1999/01/25 ^{CR LF}	④
<system05>, 14:29 ^{CR LF}	⑤
<system06>, 123456789 ^{CR LF}	⑥
<01;character>, 1, 2, 3, A, B, , ア ^{CR LF}	⑦
<02;pattern>, ptn01_01.tif ^{CR LF}	⑧
<03;mark>, 0, 0, 1, 0, 0, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 0, 1, 1, 1, 1 ^{CR LF}	⑨
<04;character>, フ, タ, ?, シ, 2, 4, 1 ^{CR LF}	⑩

図 5.2.3.3 「ocr02.txt」の例

[各フィールドの説明]

システム用情報

- ①：発信者番号を示します。
- ②：ページ番号を示します。
- ③：認識結果として”NG”を示します。
- ④：発信年月日を示します。
- ⑤：発信時刻を示します。
- ⑥：呼識別番号を示します。

ユーザ用情報

- ⑦：文字認識欄の認識結果を示します。空白は半角スペースを示します。
- ⑧：パターン欄の変換後の TIFF ファイル名を示します。
- ⑨：マーク欄の認識結果を示します。マークシートの 1 行につき 1 行とします。
- ⑩：2 つ目の文字認識欄の認識結果を示します。上記例では 3 文字目のコードに認識不能文字があったことを示しています。

(3) マークシートとして認識できなかった場合

マークシートの認識結果として認識結果ファイル(ocrXX.txt)とマークシートの原画のイメージファイル(sheetXX.tif)をお送りします。

認識結果ファイル(ocrXX.txt)上には、認識結果内容としてマークシートとして正常に認識できなかった旨を表示(system03にREJECTと表示し、要因番号を表示します)し、コード情報については記載しません。

認識結果ファイル(ocrXX.txt)の例を図 5. 2. 3. 4 に示します。

<system01>, 0311111111 ^{CR} _{LF}	①
<system02>, 03 ^{CR} _{LF}	②
<system03>, REJECT02 ^{CR} _{LF}	③
<system04>, 1999/01/25 ^{CR} _{LF}	④
<system05>, 14:29 ^{CR} _{LF}	⑤
<system06>, 123456789 ^{CR} _{LF}	⑥

図 5. 2. 3. 4 「ocr03.txt」の例

[各フィールドの説明]

システム用情報

- ①：発信者番号を示します。
- ②：ページ番号を示します。
- ③：認識結果として”REJECT”及び要因番号を示します。
※要因番号については表 5. 2. 1. 5 を参照してください。
- ④：発信年月日を示します。
- ⑤：発信時刻を示します。
- ⑥：呼識別番号を示します。

ユーザ用情報

マークシートとして正常に認識できなかったので、ユーザ用情報は表示されません。

5.2.4 パタン投入サービス

着信 E-mail の本文に記述する内容例を図 5.2.4.1 に、マークシート認識結果として送信する認識結果ファイル (ocrXX.txt) の内容例を図 5.2.4.2 に示します。

To: yama@abc.ntt.com	①
From: 0311111111@olink.ne.jp	②
Subject: Fax-Mail Service	③
Date: 1999/01/25 14:29	④
From: 0311111111	⑤
NTTコミュニケーションズ「InternetFAX(iFAX)」パタン投入サービスです。	⑥
【添付ファイル数】 4ファイル	⑦
【ページ数】 2頁	⑧
頁 認識結果 認識結果ファイル名 パタン欄数	⑨
01 OK ocr01.txt 2	⑩
02 OK ptn02.tif -	
【結果の見方】 : OK 正常に認識できました。	
ocr01.txt (添付ファイル1つ目)	⑪
ptn01_01.tif (添付ファイル2つ目)	
ptn01_02.tif (添付ファイル3つ目)	
ptn02.tif (添付ファイル4つ目)	

図 5.2.4.1 パタン投入サービスの通信メール例

[各フィールドの説明]

- ① : 【メールヘッダ】 通信メールの送信先が設定されます。
サービス利用時に From: に設定したアドレスを設定します。
- ② : 【メールヘッダ】 「発信者番号」 + 「@olink.ne.jp」という形式で設定されます。
- ③ : 【メールヘッダ】 Fax→E-mail 通信を表わす固定メッセージ「Fax-Mail Service」が設定されます。
- ④ : 【メール本文】 発信日時を示します (日付発番情報)。
- ⑤ : 【メール本文】 発信者番号を示します (日付発番情報)。
- ⑥ : 【メール本文】 スマートキャストのパタン投入サービスであることを示します。
- ⑦ : 【メール本文】 添付ファイル数を示します。
- ⑧ : 【メール本文】 正常に受け付ける事のできたページ数を示します。
- ⑨ : 【メール本文】 認識結果の一覧を示します。
- ⑩ : 【メール本文】 正常に認識されたページを示します。
- ⑪ : 【添付ファイル】 パタン投入サービスから送信されたコード情報ファイル (txt)、パタン情報ファイル (tif) を示します。

<system01>, 0311111111 ^{CR} _{LF}	①
<system02>, 01 ^{CR} _{LF}	②
<system03>, 0K ^{CR} _{LF}	③
<system04>, 1999/01/25 ^{CR} _{LF}	④
<system05>, 14:29 ^{CR} _{LF}	⑤
<system06>, 123456789 ^{CR} _{LF}	⑥
<01:character>, 1, 2, 3, A, B, , ア ^{CR} _{LF}	⑦
<02:pattern>, ptn01_01.tif ^{CR} _{LF}	⑧
<03:mark>, 0, 0, 1, 0, 0, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 0, 1, 1, 1, 1 ^{CR} _{LF}	⑨
<04:character>, フ, タ, ク, シ, 2, 4, 1 ^{CR} _{LF}	⑩

図 5.2.4.2 「ocr01.txt」の例

[各フィールドの説明]

システム用情報

- ①：発信者番号を示します。
- ②：ページ番号を示します。
- ③：認識結果を示します。
- ④：発信年月日を示します。
- ⑤：発信時刻を示します。
- ⑥：呼識別番号を示します。

ユーザ用情報

- ⑦：文字認識欄の認識結果を示します。空白は半角スペースを示します。
- ⑧：パタン欄の変換後の TIFF ファイル名を示します。
- ⑨：マーク欄の認識結果を示します。マークシートの 1 行につき 1 行とします。
- ⑩：2 つ目の文字認識欄の認識結果を示します。

6 その他注意事項

6.1 E-mail→FAX 通信における制限

- ・ お客さまが、スマートキャストへ向けて送られるメールのサイズに制限があります。
 - インターネットからのメールサイズの上限 : 50MB まで
 - 閉域網からのメールサイズの上限 : 100MB まで
 - 添付ファイルサイズの上限 : 20MB まで
- ・ お客さまが、スマートキャストへ向けて送付されたメール本文および添付ファイルについて、スマートキャストは 3章 コンテンツ変換条件に則り、相手 FAX へ配送する FAX イメージに変換しますが、その変換した FAX イメージに制限があります。
 - ページ数上限 : 32ページ まで
 - FAX イメージ容量上限* : 7.5MB まで

上記制限を超えた発信の場合、その通信は受付不可となりますのでご注意願います。

- * FAX イメージ容量上限 : スマートキャスト内にてお客さまの添付ファイルを変換し、FAX 端末へ送信できるように変換したイメージデータファイルのデータサイズに上限があります。これは、添付ファイルサイズとは、相関性はありません。事前に FAX イメージ容量を確認される場合、送受信試験(#113@olink.ne.jp 宛)をご利用ください。